



熊本市営バス

88年のあゆみ



ご挨拶



市営バス事業の終了によせて

熊本市長 大西 一史

平成 27 年 3 月 31 日、市営バス事業は、事業開始から 88 年の歴史に幕をおろしました。

まずは、これまでご利用いただきました市民の皆様と市営バス事業の発展にご尽力いただきました先人達、並びに関係者の皆様に対しまして、改めて深く感謝申し上げます。

振り返りますと、市営バス事業は、本市交通事業の幕開けとなった路面電車に続く、市民の皆様の重要な移動手段として、昭和 2 年 11 月 23 日に産声を上げました。以来、市民サービスの更なる向上のため、事業を拡大し、昭和 40 年代には、路線数 34 路線、利用者数は年間 3,900 万人と最盛期を迎えるなど、本市公共交通の重要な担い手として、その使命と役割を果たしてまいりました。

しかしながら、その後は、モータリゼーションの進展などによる利用者数の減少や社会経済情勢の変動による影響などから、全国的にバス事業者は厳しい経営環境下におかれていきました。

このような中、本市では、より利便性が高く効率的な運行体制の確立に向け、バス路線網再編の中心的な役割を担う目的で設立された熊本市バス株式会社への路線移譲を進めてまいり、その移譲完了とともに、市営バス事業の終了を迎えた次第であります。

今後は、この市営バス事業の終了をバス路線網再編の大きな契機と位置づけ、さらに地域公共交通政策の推進に取り組むことで、加速する少子高齢化や本格的な人口減少社会の到来などの社会経済情勢の変化に対応できる、持続可能で創造的な多核連携のまちづくりを実現してまいりますので、皆様には、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、長年にわたり市営バスをお支えいただいた市民の皆様と関係各位に対しまして心から感謝申し上げます、ご挨拶いたします。

平成 27 年 9 月



市営バス事業終了記念誌の 発刊によせて

熊本市議会議長 満 永 寿 博

市営バス事業終了記念誌「熊本市営バス 88 年のあゆみ」の発刊を心からお喜び申し上げます。

市営バスは、昭和 2 年に運行を開始して以来、輸送人員は約 13 億人、走行距離では地球約 9,500 周走行したことになると伺っており、その果たしてきた役割は大変大きかったものと感じ入る次第でございます。

今日に至るまでの間、バス事業の経営は必ずしも順風満帆ではなく、紆余曲折を経ながら、徹底した経営の効率化を図ってこられた歴史でもあったかと存じます。これまでの関係者各位のご尽力に対しまして、心から敬意を表します。

さて、地方創生元年と称される本年、深刻化する人口減少社会を迎える中、持続可能で創造的な都市づくりを目指し、本市は中心市街地の再開発やコンパクトシティの形成などに取り組んでおりますが、より効率的で利便性の高い公共交通体系の確立は、市民の生活にとって不可欠なものであり、きわめて重要であると考えております。

市営バス事業は熊本都市バス株式会社に全て移管されましたが、今後、熊本都市圏における利便性の高いバス路線網の再編が進み、利用者にとってより利便性の高い公共交通体系が確立されることを切に願っております。

市議会といたしましても、誰もが生き生きと暮らせる熊本市実現のため、最大限の支援をしてまいります所存でございます。

最後になりましたが、本市公共交通の中核をなしてきた市営バスを 88 年の長きにわたり支えてこられました関係各位、そして地域の皆様方に心から感謝申し上げます。

平成 27 年 9 月

記念誌の発刊にあたって

昭和2年（1927年）11月に開業した市営バス事業が、平成27年（2015年）3月末をもって88年の長きにわたる歴史に幕を下ろすに至り、ここに記念誌を発刊する運びとなりました。

この間、ご利用いただいた市民の皆様、そして多大なるご支援を賜りました関係各位に深く感謝申し上げます。

市営バスは、市当局や議会をはじめ関係機関各位のご支援を賜りながら、本市における生活交通の担い手として日夜走り続けてまいりました。

しかし今日、バス事業を取り巻く経営環境は極めて厳しい局面を迎えており、また一方で、加速度的に進展する少子高齢社会における公共交通の果たすべき役割は極めて重要性を増しております。そのような中、利便性が高く効率的なバス路線網の再編をはじめ将来にわたり持続可能な公共交通を構築していく観点から市営バス事業の熊本都市バス㈱への移譲を順次進めてまいりました。

それが完了しました今、わかりやすく利便性の高いバス路線網の再編に向けた関係機関のお取り組みが今後一層進展していくことを期待しています。

市営バス事業が、これまで残した足跡と88年間の感謝の気持ちを心に刻み、本市における重要な公共交通の基軸をなしている市電の利便性の向上に努めながら、すべての人が利用しやすい地域公共交通の構築につながるよう、その使命と役割を果たしていかなければならないと考えております。

熊本の街なかを走り続けてきた市営バスの往時を偲びつつ、長い間ご利用いただいたお客様各位に心から感謝申し上げます、記念誌発刊にあたってのご挨拶といたします。

平成27年9月

熊本市交通事業管理者 西本 賢正

CONTENTS 目次

1	ご挨拶
5	熊本市営バス88年史 歴史編
6	第1章 誕生
	第2章 激動(戦中)
	第3章 復興(戦後)
	第4章 最盛
	第5章 終業
21	路線図
	1927(昭和 2)年 開業当時
	1955(昭和30)年 台頭期
	1969(昭和44)年 最盛期
	2003(平成15)年 路線移譲開始前
25	市営バスの動物マーク
26	乗車券あれこれ
30	さようなら市営バス ~88年の感謝を込めて~
	記事:市政だより、くまもとさるく、雑誌 など
	新聞記事から
39	資料編
40	運賃の変遷
49	年表
54	創業以来の運輸成績
56	職員数の推移(市電を含む)
58	歴代局長・事業管理者

熊本市営バス88年史

歴史編





第1章 誕生



1935(昭和10)年頃 辛島町ロータリー

日本で初めてバスが走ったのは、1903（明治36）年9月20日の京都市でした。これが日本の乗合バス第1号とされ、その後9月20日は「バスの日」と定められました。

熊本にバスが走ったのは、およそ10年後の1913（大正2）年5月、植木～大津間が初めてであったと記録されています。熊本市内での初めての運行は、1926（大正15）年8月ともそれ以前とも諸説あるようです。

このような中、市電事業をすでに開業〔1924（大正13）年8月〕していた熊本市は、1927（昭和2）年11月23日、バス事業も開始することになりました。この背景には、市電だけでは市域をカバーできないこと、また、市民サービス向上の方策として必要だったことがありました。事業開始の数か月前、7月の臨時市議会において「熊本市乗合自動車経営の件」が付議され、乗合自動車の運行系統と予算に関して議論がなされ、バス事業の開始が決定されました。

【開業当時の状況】

（運転系統）

第1号系統

味噌天神前～熊本駅前～藤崎宮前～
味噌天神前（環状線）

第2号系統

花畑町～島崎口～上熊本駅前

第3号系統

上熊本駅前～浄行寺町～五高前～
竜田口駅前

（運賃）

普通乗車券 1区につき4銭（全5区）

回数乗車券 26区分1円 52区分2円

（車両）

13人乗り・14人乗り 計17台

（車庫・事務所）

大江町九品寺

（乗務員）

運転手18人 車掌18人



1933(昭和8)年頃 市役所前

順調に営業していた市営バスに思いがけない災難が降りかかります。創業わずか8か月目の1928(昭和3)年7月15日午前3時頃火災が発生し、自動車課事務所、車庫及びバスのすべてが焼失しました。大江車庫電気課内にバスの仮事務所を設置し、電車委員会を開いて善後策を検討しました。バス補充の調査のため京都市、大阪市、堺市へ出張する一方で、事務所と車庫を急造し、肥後タクシーからホイペットホ口型車5台を借用して、花畑町～上熊本駅前～竜田口駅前の路線を臨時運行しました。

どうにか急場をしのいでいた市営バスでしたが、8月27日には新たに購入したシボレー型車6台で運行できるようになり、借用していた車を返却します。さらに購入したバスが順次到着し、9月には計19台のバスで営業できるようになりました。また、10月末には事務所や車庫なども完成して完全復旧しました。

1929(昭和4)年に入ると市営バスは路線の拡大に乗り出し、3月5日から新たに2系統の運行を開始しました。

第4号系統

浄行寺町～子飼橋～白川町巡査派出所

第5号系統

花畑町～下通町～代継橋・医科大学附属病院裏通り～味噌天神前

開業間もない頃から、利用者へのサービス向上を目指して回数券などの運賃割引が行われていました。今では考えられませんが、1931(昭和6)年3月10日～31日までの22日間に市電と市営バスが発売した割引乗車券には、1等賞品が市電回数券1円券(35区分)10冊などの景品が当たる抽選券が付いていました。

また、この年には、さらに事業を拡大するためバス事業者を買収しています。当時、民間バス事業者のバス路線の中で最も業績のよかった新市街～京町間の路線を営業していた竹田バスと交渉し、路線の営業権と7台のバスを30,000円で買収し、同年5月23日から花畑町～池田町間を京町線として営業を開始しました。さらに、大江九品寺～市役所前～春竹駅前～琴平町～迎町～古川町の路線を



1930(昭和5)年 花畑町

新設しました。

この頃、バス事業は同業者間の競争が激しく、またガソリンや各種部品の価格が高騰し経営が難しくなってきました。この打開策として一時的な需要に対応する臨時路線が計画され、1933(昭和8)年、江津湖の納涼客のため水前寺～画図橋間、田崎競馬場春秋2回の観覧客のため熊本駅前～田崎競馬場間の営業を開始しました。このほかにも、本妙寺頓写会に際し各線とも終夜運行を行いました。また、この時期には、観光客へのサービスとして遊覧案内の車掌を養成していたとの記録もあります。

また、利用者へのサービス向上のため、これまで市電と市営バスを乗り継ぐ場合は別々に料金を収受していましたが、1935(昭和10)年1月、利用者からの強い要望により乗り継ぎ制が開始され、バスへの乗継券が発行されました。

同年3月25日～5月13日までの50日間、

水前寺の区画整理地一帯を会場として新興熊本大博覧会が開催されました。市営バスにとって絶好の増収の機会となり、午前午後各1回、熊本駅～熊本城～藤崎台～本妙寺～水前寺のコースで、普通料金1人につき1円で定期遊覧バスを運行しました。



1928(昭和3)年 シボレーバス



第2章

激動(戦中)



1926-30(昭和初期)頃 バスガイド



1938(昭和13)年頃 木炭バス

1937(昭和12)年からの日中戦争を機に、交通事業は避けがたい重大な局面を迎えることとなりました。全国各地の交通事業者は統制を受け、熊本市も例外ではありませんでした。このような中でも、市営バスはおもしろい試みをしています。熊本市随一の水郷で、四季を通じて市民の憩いの場であった江津湖

は、特に夏になると納涼客で賑わいを見せるため、この夏の間のみ遊覧船を運航し、さらには市電と市営バスへの乗客を誘致するというものでした。翌年までの実施ではあったものの、2年間で延べ7,361人の利用者が夏を満喫したのでした。

戦況がさらに悪化するにつれ、燃料や資材の不足に悩まされました。市営バスは1938(昭和13)年5月1日からのガソリン規制により、一部路線の運休や運行回数の削減を余儀なくされました。このため、ガソリン不足の対策として商工省では木炭車を奨励し、ガス発生装置取り付けについて奨励金を交付しました。市営バスは、まず10台のバスを改造し、翌1939(昭和14)年に規制がさらに強化されたため、翌々1940(昭和15)年までには所有するバスのほとんどが木炭車となりました。1941(昭和16)年9月1日には、



ついにガソリンによるバス・タクシーの運転が全面的に禁止されました。

一方で、車両の老朽化やガス発生装置が入手困難なことなどによりバス車両の廃車が続出したことや燃料となる木炭が不足したことに加え、木炭車は営業中に故障が多いうえ燃費も悪く、さらには運転時間も不正確であったため、その対策としてバス停の削減や路線の休止などを行ったことで、市営バス事業は縮小の一途をたどることとなりました。また、戦争の拡大で乗務員が不足し、当時の最盛期には90名以上在籍した職員数も1941（昭和16）年には半数に、翌1942（昭和17）年には20名にまでなっていました。

さて、木炭車とはどのようなバスだったのでしょうか。とある文献によれば、木炭車はバスの後部に取り付けられたカマと呼ばれるガス発生装置に木炭を入れて一酸化炭素を発生させます。この一酸化炭素と空気を混合して電気点火でエンジンを動かすそうで、この中には手動で行う工程もあり、非常に労力のかかる作業だったようです。しかも、冷えた

カマに木炭を入れてガスを発生させるため、始発の2～3時間も前から準備をしなければならなかったそうで、当時の苦勞が伺えます。さらに木炭車は馬力が弱く、坂道や再発進のたびによくエンストを起こしたようで、このような時は、乗客が降りてバスを後ろから押すという光景も見られました。この木炭車は1950（昭和25）年～1952（昭和27）年頃には役割を終えたそうです。

乗務員は減少する一方で、国家総動員体制の強化などによる利用者の増加に対応するため1941（昭和16）年11月1日、急行電車と急行バスが登場しました。車両購入などの設備投資はもちろんのこと修理資材の入手さえも困難な時代であったため、運行回数の増加によって輸送力を増やす以外に方法がありませんでした。急行運転は、ラッシュアワーの朝7時～9時まで、夕方4時～6時までの間、一部のバス停、電停を通過するもので、当時の113バス停のうち33バス停を、46電停のうち19電停をノンストップとしたため電力や燃料の節減にも繋がりました。

急行電車バス及御案内

昭和十六年十一月一日施行



1926-30(昭和初期)頃乗合バス

第3章

復興(戦後)



1947(昭和22)年頃 電気バス



1950(昭和25)年頃 大型展望車「しらめい」



1953(昭和28)年 6.26水害で大きな被害を受けた交通局

1945(昭和20)年8月15日終戦を迎えます。戦中、戦後の混乱で減少していた利用者も、軍人の復員や海外引き揚げ者の増加などで再び増え始めました。戦後間もない1946(昭和21)年、バスの営業に必要な燃料や資材が不足したため、市営バスは京町線を営業するのがやっとでしたが、輸送力強化のため、燃料不足で走れなくなったバスを電車が鉄パイプでつないで走るといった珍しい光景も見られました。このような状況の中、翌1947(昭和22)年には、元三菱重工業熊本工場で工員輸送用として使われていたバッテリーで走る電気バス2台を含む計5台のバスを購入したほか、子飼橋～竜田口駅前間、花畑町～岳林寺間の営業を再開し、さらに市電の輸送力を補うため市電代行バスを熊本駅～花畑町間、水前寺～水道町間で運行するなど、少しずつですが確実に復興に向けて歩き出しました。

1950(昭和25)年、資材不足などの戦後の混乱も一段落し、復興に向けた取り組みがいよいよ加速します。市電の整備として、無軌道電車(トロリーバス)計画、市電グラウンド線延長、市電健軍線複線化の3つの事業を中心に進められました。一方、市営バスにとっても躍進の年でした。輸送力強化のためディーゼル車を含む16台のバスを購入しました。ディーゼル車の登場は車両の性能向上と大型化を実現し、輸送力は飛躍的に増大しました。路線の拡張も行われ、いわゆる環状線の運行を開始したのもこの年でした。熊本駅前を起点として、細工町～段山～上熊本～子飼橋～渡鹿～本荘～本山を経て熊本駅前に戻るルート(第一環状線)でした。翌1951(昭和26)年には、水道町を起点とする第二環状



線（水道町～尚絅校前～南熊本～八王寺～水前寺～渡鹿～子飼～水道町）が増設されました。復興や都市計画事業で道路が整備されるにつれバス路線も、官公庁、銀行、会社などが集まる花畑町を起点として、市周辺に放射線状に走るように統一され、1952（昭和27）年、その後の市内バス路線網の基礎が完成しました。

さらに、年々増加する観光客を誘致するために、新規事業として貸切の大型観光バスが登場しました。観光ガイド専門の女性車掌5名を増員、バス4台を購入し、それぞれ大阿蘇、不知火、有明、九重と命名しました。屋根部分にも窓があるという独特のスタイルの観光バスは展望の良さが売りでした。

1953（昭和28）年6月26日に発生した未曾有の大洪水により、熊本市街地は泥沼状態となりました。退避できた一部の市電と市営バス2台を除いた全施設に甚大な被害が生じました。一時は復興の目処も立たない状況でしたが、職員はもとより様々な人たちの懸命な努力により、災害から2日後にはバス4台により市電の一部区間で代行運転が始められました。7月7日に市電が一部区間で復旧したこともあり、11日にはバス17台でバス路線の一部の運行を再開することができました。

1954（昭和29）年10月1日～11月15日までの46日間、市電開通30周年を記念し、水前寺一帯を会場として熊本交通観光大博覧会が開催されました。市電、市営バス事業関連をはじめ近代交通機関の各種実物や模型の展示、全国の観光関連出品物、遊戯施設、劇場なども設けられ、多くの観光客などで賑わいました。翌1955（昭和30）年には、残された遊戯施設を活用して、土日祝日のみの開園で入園無料の水前寺遊園地を開設しました。ところが、その敷地を熊本市体育館建設用地として提供することとなり、開園から1年足らずで閉園することとなりました。



1954(昭和29)年 熊本交通観光大博覧会



1954(昭和29)年



1954(昭和29)年頃 県内唯一のトレーラーバス

第4章

最盛



1955(昭和30)年代 辛島町付近

1955(昭和30)年代に入ると、市営バスは、市街地域が拡大するにつれ、地域住民の移動手段を確保するため新規路線の運行を次々と開始します。公共交通の担い手としてバスが台頭してくる時期でした。1959(昭和34)年度の決算状況を分析した資料によると、1953(昭和28)年度比で、利用者数が市電は24%の増加に対し、市営バスは191%の増加であり、また、市の人口に対する市電と市営バス全体の1日平均の利用者数が増加傾向にある中、内訳をみると、同指標において市電はやや減少する一方で、市営バスは2倍近くに増加していたことから「すでに市電は斜陽化しつつあることを示していた」と結んでいます。

1960(昭和35)年、熊本市を中心に県下で第15回国民体育大会が開催され、総勢2

万人を超える選手、観客などが全国から集まりました。これに備え、市営バスはその機動力を活かして交通網の整備を行いました。熊本駅前～熊本空港間ほか4路線の新設や臨時バスを運行し、国体終了後にはさらに運行系統の大幅な変更を行うなど積極的に路線の拡充を図りました。このほか通勤通学の利用者による朝夕ラッシュ時の対応として急行バスを運行しました。

ところで、バスの前面もしくは側面にワンマンの文字を見たことがあるでしょうか。開業以来、バスは運転士と料金の収受をする車掌の2名体制で運行していました。1963(昭和38)年、運転士1名で運行するワンマンバスが熊本で初めて、市営バスの中央環状線で登場しました。導入の理由は人件費の節約という経営面からの切実なものでした。当初



は前乗り、後ろ降り、乗車するときに料金を前払いするというスタイルでした。ただし、このワンマンバスを運行するには国から「車掌を乗車させないでよい運転系統」としての指定が必要で、ワンマンバスの運行は午前7:10～午後9:40までの間に限られており、年末年始などの利用者が混雑する時は車掌を乗車させることとの条件が付いていました。

1965（昭和40）年代はバスが一番輝いていた時代でした。自動車社会が到来し、市電の路線が次々と廃止される中、その代替交通として活躍しました。最盛期の1969（昭和44）年には路線数34路線、在籍バス車両数200台、年間の利用者数は3,900万人にも上りました。この最盛期の10年間で開業以来88年間の総利用者数の約3割を占めており、この年代がバスの黄金期であったことが伺えます。ちなみに、旧熊本交通センターは1969（昭和44）年3月6日にオープンしています。



1960(昭和35)年頃 第二環状線



1960(昭和35)年頃 市役所前



年代不詳 バス整備風景



1961(昭和36)年頃 千葉城町



1961(昭和36)年頃 辛島町



1961(昭和36)年 三軒屋付近



1965(昭和40)年 熊本駅前



1966(昭和41)年 内坪井町



1965(昭和40)年代バス 復刻カラーバスのモデル



2013(平成25)年11月から運行 復刻カラーバス



第5章

終業



1990(平成2)年 大型バス



1993(平成5)年 レトロ調バス

1965（昭和40）年代の最盛期を過ぎると、モータリゼーションの進展などによりバスの利用者数は次第に減少し、厳しい経営環境下におかれまして。1972（昭和47）年度末には累積欠損金が19億円を超えたため、翌1973（昭和48）年に交通事業再建計画（15か年計画）を策定し、国から支援を受けながら交通事業の再建に取り組みました。この計画の中で、市営バスは徹底した経営の効率化と、様々な利用者へのサービス向上策を実施しました。1977（昭和52）年、バスの走行環境を改善するため、バス専用レーンとバスの優先信号とを併せて実施しました。また、

今では当たり前ですが、バスが冷房化されたのはこの年でした。翌1978（昭和53）年は、運行系統を東西南北の4つの区域で色別に案内する表示に改善し、1982（昭和57）年は、これまで市電と市営バスでのみ共通で使えた回数券を、民間バス事業者でも使えるようにしました。同じ年には、市営バスのシンボルマークとも言える運行系統ごとの動物マーク（最後まで残った小峯京塚線はライオンでした）も登場しました。

1988（昭和63）年3月、15年間の再建計画が終了した後も、利用者数の減少に歯止めがかからず厳しい経営環境が続きました。一方で、高齢化社会の進展による公共交通の重要性が認識され始めた時代でもありました。

市営バスは、これらの社会経済情勢に対応するため、利用者へのサービス向上策や福祉対策を次々と実施しました。利用者へのサービス向上策として、1996（平成8）年に、これまで市内で競合するバス事業者ごとにバラバラであったバスの行き先表示を統一しました。このことは、利用者のサービス向上という共通の目的のために、事業者の枠を超えて取り組んだ画期的なものでした。また、おなじみのプリペイドカード式回数券（愛称：To熊カード）の運用を開始したのは1998（平成10）年でした。さらに、2005（平成17）年に、市内5か所の主要バス停にバス接近表示器を設置し、バス運行状況のいわゆる見える化を図りました。福祉対策として、1994（平成6）年にリフト付きバス、翌1995（平成7）年にスロープ付き超低床バス、1997（平成9）年にノンステップバスの運行を開始しました。このほか、熊本城周遊バス〔1992（平成4）年〕や熊本城シャトルバス〔2004（平成16）年〕の運行を開始し、観光客など利用者の誘致に



も力を入れていました。

しかしながら、利用者数は再建計画終了後からの15年間で2割以上も減少するなど、熊本都市圏のバス事業全体が衰退しつつあったため、この打開策としてバス事業全体の採算性の向上と効率的な運行体系の確立が急務となってきました。このような中、競合する市営バス8路線について2004（平成16）年から民間バス事業者へ順次移譲する一方、民間バス事業者においては、事業者の枠を超えたサービスを提供する仕組みづくりを構築するため、2007（平成19）年12月、熊本都市バス株式会社が民間バス事業者3社共同で設立されました。

熊本市においては、2008（平成20）年5月、将来にわたって利便性の高いサービスを提供できる公共交通体系の構築とバス事業の運行体制のあり方について検討するため「熊本市におけるバス交通のあり方検討協議会」が設置され、2009（平成21）年5月、市営バス事業の熊本都市バス株式会社への全面移譲が提言されました。

機を同じくして、国において財政健全化法

が本格施行され、熊本市交通事業はこの法律に基づく経営健全化計画を2010（平成22）年3月に策定しました。この計画の中で、より利便性が高く、より効率的なバス路線網の再編に向けて、市営バス事業の全てを熊本都市バス株式会社に順次移譲することを、議会の議決を経て決定しました。2009（平成21）年の上熊本営業所本山車庫管轄の7路線の移譲をはじめに、2012（平成24）年には上熊本営業所管轄路線の全てを、そして、2015（平成27）年4月1日、最後の路線となった小峯営業所管轄路線の小峯京塚線を移譲したことにより、全23路線の移譲が完了しました。



1995(平成7)年 熊本城周遊バス



1997(平成9)年 ノンステップバス



2000(平成12)年 ハローキティバス



2001(平成13)年 都心循環(ゆうゆう)バス



2014(平成26)年

1927（昭和2）年11月23日、市営バスは産声を上げ、戦争や災害、高度経済成長期におけるモータリゼーションの進展など激動の時代に直面しながら、2015（平成27）年3月31日の営業を最後に、その役目を終えました。この間、地球約9,500周分もの距離を走り、約13億人の皆様にご利用いただきました。

市営バス事業の終了に当たり、88年の長きにわたる歴史を記すとともに、皆様への感謝の気持ちを込めて、ここに記念誌を刊行いたします。

貴重な写真、資料等をご提供いただいた関係各位に深甚なる謝意を表しますとともに、これまで市営バスをご利用いただいた多くの皆様に心からお礼申し上げます。

路線図

1927(昭和2)年開業当時の路線図



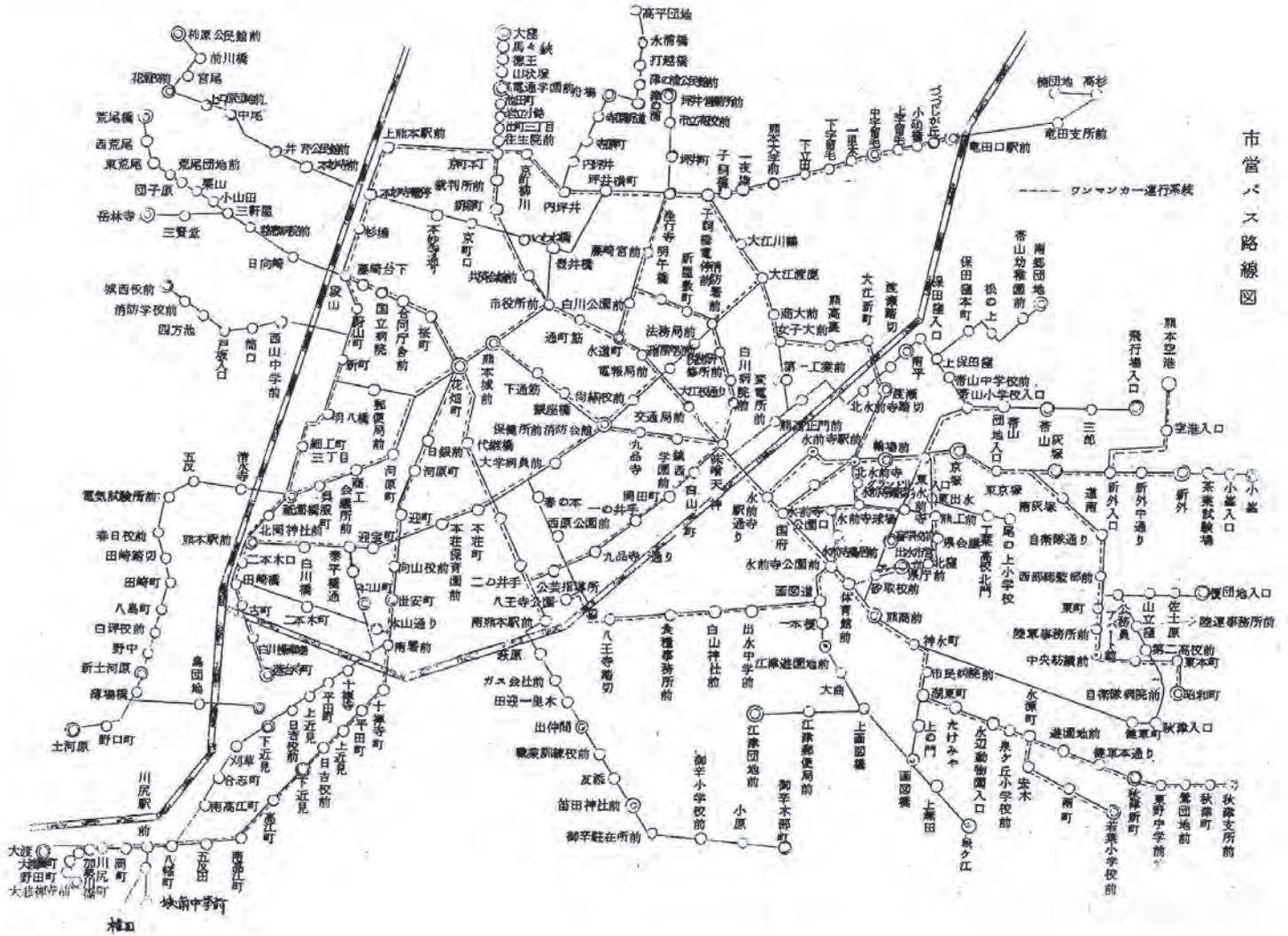
電車
路線

— 幹線…熊本駅前 浄行寺前
— 水前寺線…水道町～水前寺

バス
路線

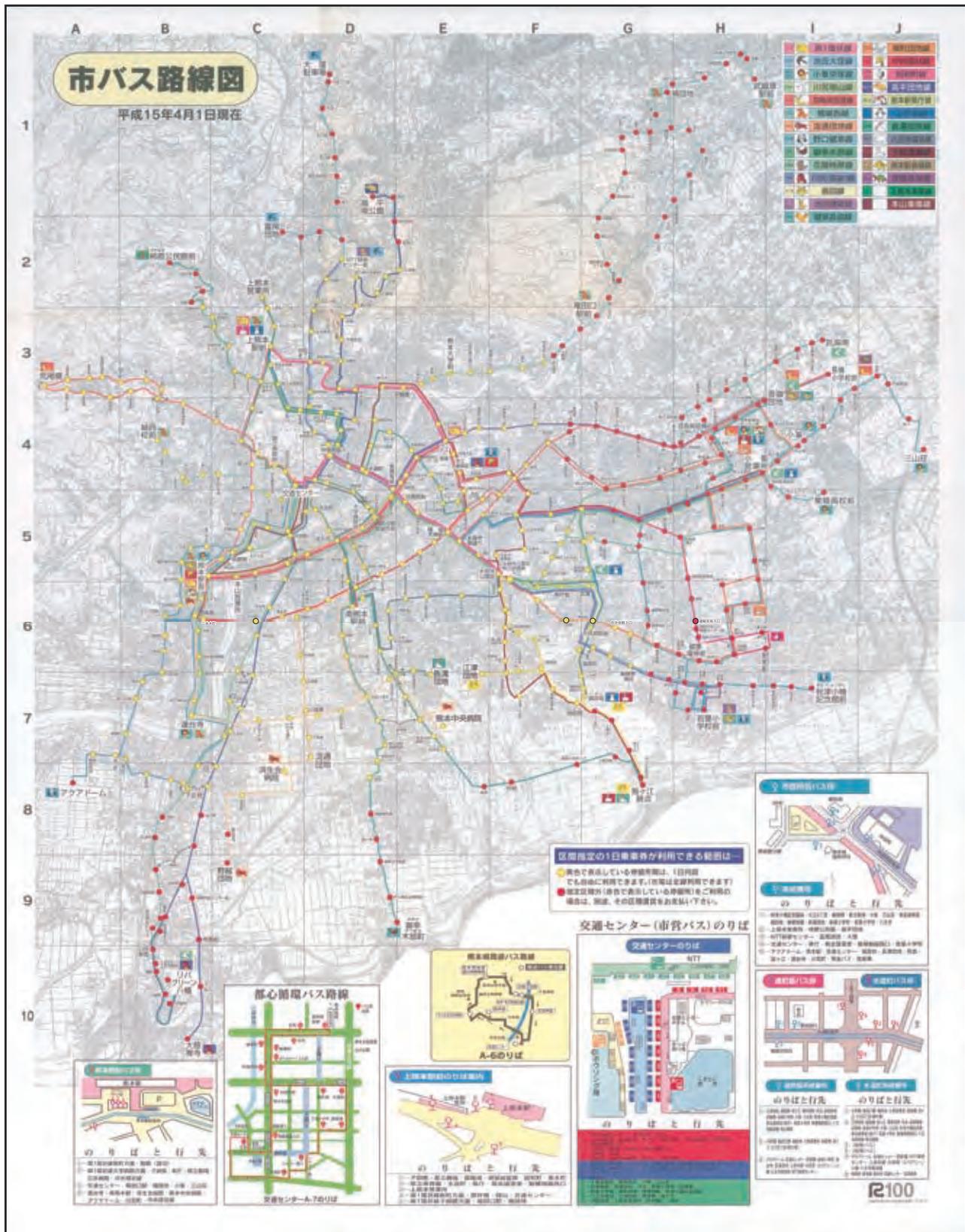
— 第1号系統…味噌天神を起点とする環状線
— 第2号系統…花畑町(記念碑前)～上熊本駅前往復
— 第3号系統…上熊本駅前～竜田口駅往復

1969(昭和44)年最盛期の路線図



市営バス路線図

2003(平成15)年路線移譲開始前の路線図





市営バスの動物マーク



市営バスといえば、路線ごとに動物マークの入った系統板。1982(昭和57)年に登場しました。全部で30種類もありました。最後まで走っていた動物は小峯京塚線のライオンでした。絵柄もリニューアルして、ちょっとかわいくなりましたよね。

路線	動物マーク
1 第一環状線	ゾウ
2 第二環状線	ウシ
3 池田大窪線	ツバメ
4 小峯京塚線	ライオン
5 川尻常山線	ハト
6 島崎保田窪線	シカ
7 長嶺子飼線	イヌ
8 楠城西線	ワニ
9 流通団地線	ウマ
10 野口健軍線	パンダ
11 御幸木部線	ワシ
12 花園柿原線	タヌキ
13 川尻(国道)線	サル
14 画図線	トラ
15 池田健軍線	カンガルー
16 健軍長嶺線	リス
17 川尻土河原線	インコ

路線	動物マーク
18 東町団地線	クジラ
19 中央環状線	キリン
20 昭和町線	ダチョウ
21 高平団地線	ネズミ
22 熊本駅県庁線	ネコ
23 上熊本線	ペンギン
24 長溝団地線	ウサギ
25 上熊本車庫線	ニワトリ
26 川尻県庁線	ミミズク
27 本山車庫線	-
28 八王寺環状線	サイ
29 子飼渡瀬線	ハクチョウ
30 熊本城周遊バス	-
31 熊本駅長嶺線	イノシシ
32 渡鹿長嶺線	カメ
33 大江城西線	ワニ

※路線の改廃のタイミング等により、動物マークが1つの路線がある。

乗車券あれこれ

11回 130円
 ▶昭和35年 国体記念乗車券



▲昭和28年 往復券 25円



▲昭和28年 往復乗車券 25円



▲昭和37年 早朝割引券 往復券 25円



▲昭和37年 回数券 11枚 150円



▲昭和37年 片道券 15円



▲昭和44年 回数券 13枚 300円



▲昭和40年 回数券 11枚 200円



▲昭和37年 補充券 2円



▲昭和48年 普通回数券 13枚 350円



▲昭和59年 熊本市電開業六十周年記念乗車券



▲昭和48年 通学回数券 13枚 350円



▲昭和51年 ミックス通学回数券
 30円・40円・10枚 50円12枚
 1冊 1000円



▲昭和51年 ミックス普通回数券
 30円・40円・10枚 50円8枚
 1冊 1000円



▲昭和49年 ミックス通学回数券
 10円・20円・30円各13枚
 1冊 600円



▲昭和49年 ミックス普通回数券
 10円・20円・30円各11枚
 1冊 600円



◀昭和24年 電車開通25周年
記念片道券 7円



▲昭和14年 往復券 12銭



▲昭和14年 片道券 6銭



▲昭和26年 片道券 10円



▲昭和24年 回数券 11枚 10円



▲昭和14年 乗継券 3銭



▲昭和28年 片道割引券 7円



▲昭和24年 片道券 7円



▲昭和20年 片道券 10銭



▲昭和28年 回数券 11回 130円



▲昭和24年 片道券 7円



▲昭和20年 回数券 15回 1円



▲昭和28年 片道券 13円



▲昭和26年 乗継券 1枚 5円



▲昭和21年 片道券 20銭



▲昭和28年 特別回数券 10回 100円



▲昭和26年 特別回数券 10枚 70円



▲昭和22年 回数券 11回 10円



◀昭和27年 市電優待片道券

1日乗車券

いまではおなじみの観光などに便利な1日乗車券。指定の区間内であれば乗り降り自由とあって人気があります。



▲初登場は1980(昭和55)年。当初は区間指定で有効期間がスタンプ式でした。



▲1989(平成元年)年。有効期間を記入式に変更。



▲1992(平成4)年。乗り降りできる区間が広がった全線券が登場しました。有効期間をスクラッチ式に変更。



▲1992(平成4)年。熊本城周遊バスの1日乗車券。右はJRの窓口で発券された1日乗車券で、指定区間と熊本城周遊バスが利用できました。



▲2005(平成17)年。さらに利用しやすく、熊本市の観光文化施設の割引券を付けました。名称も「Enjoyバスポート」と新しくなりました。



▲2007(平成19)年。2日乗車券が登場しました。利用範囲は区間指定券と同じ。



▲2010(平成22)年。民間バス事業者との共通利用が可能となり、熊本県内版の1日乗車券が登場しました。この券があれば阿蘇や天草にも行けます。

To熊カード

これまでの紙券に変わり、プリペイド式の回数券が1998(平成10年)3月に運用を開始しました。券種は発売額1,000円、3,000円、5,000円で、普通と学生の全6種類。利用金額にはプレミアムが付いていました。



▲初代
絵柄は全ての券種で同じでした。ハートを乗せて走ってます。



▲2代目



▲3代目
2005(平成17)年から登場しました。国内外で活躍する熊本市出身の画家、葉祥明氏によるデザインでした。

企画乗車券

イベントなどにあわせて発行した企画乗車券。いろいろありました。

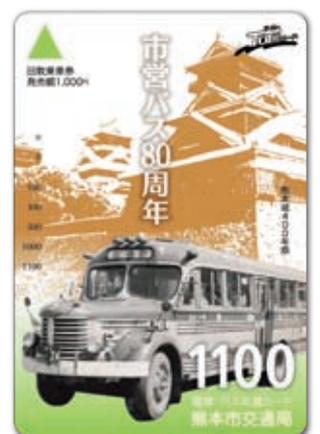


▲レトロ調バス運行記念乗車券。フルオーダーメイドのレトロ調バスが運行を始めたのが1993(平成5)年9月23日。乗車券は10月1日の販売。



▲1999(平成11)年に開催された「くまもと未来国体・ハートフルくまもと大会」を記念した民間事業者との共通回数乗車券。ポストカードが付いてます。

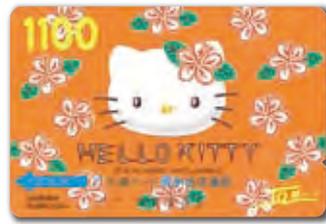
市営バス80周年記念カード
2007(平成19)年11月17日に発売した記念カード。昭和30年代頃のレトロバスと熊本市の象徴とも言える熊本城をデザインしました。



大人気だった「ハローキティカード」シリーズ。
初代カード発売時には長蛇の列だったとか。特別な台紙とセットで販売して
いました。シリーズはVol.19まで。全部見せます。



▲1999(平成11)年、春。Vol.1。



▲1999(平成11)年、夏。Vol.2。



▲1999(平成11)年、秋。Vol.3。



▲1999(平成11)年、冬。Vol.4。



▲2000(平成12)年。ハローキティバス運行記念。Vol.5。



▲2000(平成12)年。Vol.6。



▲2001(平成13)年。Vol.7。



▲2001(平成13)年。熊本で開催されたインターハイとコラボ。Vol.8。



▲2001(平成13)年。Vol.9。



▲2002(平成14)年。ダニエルと。Vol.10。



▲2002(平成14)年。市電の上熊本車両基地完成記念。Vol.11。



▲2003(平成15)年。Vol.12。



▲2004(平成16)年。Vol.13。



▲2004(平成16)年。交通事業80周年記念。下は台紙。Vol.14。



▲2005(平成17)年。キティのペットの「チャーミーキティ」と「シュガー」。Vol.15。



▲2006(平成18)年。ダニエルと。Vol.16。



▲2006(平成18)年。Vol.17。



▲2007(平成19)年。熊本城築城400年祭を記念して、テーマは「和」。Vol.18。



▲2009(平成21)年。ダニエルと。シリーズ最後のVol.19。

さようなら市営バス

～88年の感謝を込めて～

市営バスの終了をいろんなところで取り上げて、盛り上げていただきました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



▲市政だより(2015年3月号・5月号)。「市営バス歴史写真展」も開催しました。



◀3月26・27日に開催された熊本国際観光コンベンション協会主催の「ありがとう市営バスさるく」。皆さん楽しかったでしょう？

▶日本郵便から販売された市営バス終了を記念したオリジナルフレーム切手。1,000シート限定だったので、すぐに完売したそうです。日本郵便九州支社長から市長への贈呈式も行なわれました。※販売は終了しています。



◀市営バス終了記念カードを発売。記念台紙がついて2,015枚の限定発売でした。



最終日、小峯営業所にて熊本市営バス事業終了式典を実施

事業終了を迎え、熊本市営バス小峯営業所にて最終日の3月31日には「熊本市営バス事業終了式典」が行われた。出席者からは関係者へ長年の労を労う言葉が多く寄せられた。沿線保育園児童から乗務員への花束贈呈のほか、会場内では歴史写真展も開催された。



改編後 4月1日から全線が 熊本都市バスの運行に!

- 1 市営バスの小峯京塚線が発着していた熊本交通センター26番のりばも翌日から「都市バス」標記に変更された。
- 2 4月1日から熊本都市バスに移管された小峯京塚線。「味6戸島神社経由三山荘」行きは同日から新設された系統だ。公共交通の民間移譲に際して系統を新設し、利便性を向上させるのは珍しいケース。
- 3 市営バス最後の車両のうちレトロ調バス1台を除く31台は、熊本都市バスへ移籍。ICカード設備を増設、事業者標記の変更を行ない、翌日より使用された。都市バスカラーに統一されるまでの期間、白と緑の市営バスカラーも引き続き熊本市内で見られそうだ。



「最終バス出発見送り」式典



23時00分には市営バスとしての最終便が熊本交通センター26番のりばを発車。これに先立ち「最終バス出発見送り」式典が行なわれ、担当乗務員への花束贈呈、車内にて自動車課長の挨拶が行なわれ、乗客を満載した最終バスは多くの人々に見送られた。

事業終了式典後、記念運行を実施

写真■中山悠一



式典終了後、招待児童や関係者を乗せた記念運行を実施。小峯営業所と市内中心部を往復した。写真は市役所正面玄関前にて。

「都市バス」標記に変更されるなど、熊本市営バスが幕を閉じたことを実感させる様相に一転していた。なお、4月1日の熊本都市バスへの移譲に合わせ、小峯京塚線に「味

6戸島神社経由三山荘」行きが新設された。通常、公共交通の民間移譲に際しては、路線をそのまま継承するケースが多く、系統を新設するのは珍しいケースといえる。利用者の

路面電車は熊本市交通局が引き続き運行!



写真■菅越和也

市営バスの運行は終了したが、熊本市交通局は引き続き、電車事業として路面電車2路線を運営。2014年10月には新型車両の0800型「COCORO」がデビューした。今後も変わらず、熊本市の交通の担い手として事業展開が期待される。

利便性を向上させる積極的な取り組みは、これまでの熊本市内の交通の牽引役であった交通局を引き継いだ熊本都市バスの積極策でもあり、今後の展開にも期待したい。

熊本市交通局のバス事業、88年の長い歴史に幕 熊本都市バスへのバス事業の移譲が完了

出典：バスライフ Vol. 1



熊本城を車窓に熊本交通センターに到着するレトロ調バス。同車は1993年、熊本のイズミ車体で製作された日野・U-C G3KSAU改で1台が在籍した。写真は昨年9月のイベントで、特別運行された時の模様。



JR熊本駅前を走る市営バスの車両。白い車体に緑のラインを施したカラーリングは、緑あふれる熊本市街地の景観によく馴染んだ。九州新幹線開業に際しリニューアルされた電停には同局が運行する熊本市電も見える。



2013年11月には昭和40年代のカラーリングを施した「復刻カラーバス」が登場。熊本市街地に懐かしい色のバスが戻り、市営バスのラストステージを飾った。



交通局のバス事業終了に向け、復刻カラーバスなどの一部車両には歴史写真や交通局職員手作りの装飾を掲示。事業終了まで市営バスを盛り上げた。

バス停に掲出された最後の市営バス路線である小峯京塚線の譲渡に関する告知。車体の「熊本市営」の標記も過去のものとなった。



交通局は1990年代、新技術を盛り込んだ低床バスを積極的に導入した。写真は95年に導入したスロープ付きワンステップバス。97年にはノンステップバスも登場した

最終日には、小峯営業所にて「熊本市営バス事業終了式典」が行なわれ、その後、参加者に乗せた記念運行も実施された。また、市営バスとしての最終バスでは「最終バス出発見送り」式典を実施し、市営バスの長い歴史のラストステージを飾るイベントが続けられた。

最後まで交通局小峯営業所に所属した31台は翌日から「熊本都市バス」標記に変更されて早速走り出した。また熊本交通センター26番のり

幕を下ろした。

44（昭和19）年に電気局から現在の熊本市交通局に改称され、熊本市の交通を担ってきたが、利用者の減少に伴う経営の健全化、バス事業の再編に着手。2004（平成16）年からは市内を運行する民間バス事業者3社への路線移譲がスタートした。さらに07（平成19）年には市営バス路線の受け皿会社として新たに熊本市バス株式会社が設立され、09（平成21）年より同社への移譲が段階的に進められた。そして最後の市営バス路線だった小峯京塚線が今年4月1日に熊本都市バスへ移管され、熊本市営バス路線の移譲が完了。同局によるバス事業が終焉を迎えた。

新聞記事から

市営バスの終了を記念した特別連載や記念カードの発売、式典の様子などたくさん記事にさせていただきました。



濃い緑色のワンピース3（昭和48）年、念願かにベレー帽。ベルトや襟になって市営バスのガイド元の白が、熊本市営バスの単体デザインを思わせる。40年ほど前に撮影された写真の中で、「市営バスのガイドさん」が初め「いつまでたっても一歩の採用がなくなっただけで、先輩たちの姿を浮かべている。

市営バスはかつて、貸し切りバス事業も運営していた。市交通局営業推進室の木村茂子さん（60）は、現役の市交通局職員でただ1人のガイド出身者。市営バスが運行を終える31日、定年退職を迎える。

高校を卒業した197



木村茂子さん

見ながら、自分なりの方法を模索した。調べておいた旅先の民謡を「お土産に」と客に覚えてもらったり、得意の歌で楽しませたり。バスを降りる客の「楽しか

最後のバスガイド 木村茂子さん

時代の流れ…寂しい



熊本市営バスガイド時代の木村茂子さん（木村さん提供）

った」の言葉と笑顔にやがてを感じた。「お給料をもらいながらいろんな所に行けて、郷土料理も食べられる。失敗もしたけれど、楽しい思い出がいっぱい」

当時、交通局には20台以上の貸し切りバスがあった。団体旅行や小中学校の修学旅行に使われていたが、事業自体は縮小が始まっていた。バスは旧型で、観光地ではかの会社がバスと並ぶと古さが際立った。「ガイドが頑張らないと」。背筋を伸ばし、案内用の小旗を口担当に移った。ガイド

として乗務したのは6年。それでも「さまざまな人に接した経験はその後の仕事にも生きた」と振り返る。

ガイドの制服と同じ緑色の市営バスはまもなく、長い歴史に終止符を打つ。「時代の流れとはいえ信じられない。とても寂しい」と木村さん。

「でも、最後まで見送ることができるので、（区切りの）線が引けます」と寂しそうに笑った。（小松雄太、森紀子）

市民の身近な足として長く親しまれてきた熊本市営バスは、民間バス会社に最後の1路線を移譲し、3月末で営業を終了する。88年の歴史を振り返り、関係者の思いをつづる。

走り続けた 88年

熊本市営バス運行終了



②

「バスの顔」ともいえるフロントガラスを洗う「市民の足」を担ってきたが、その仕事も間もなく終わる。「汚れていると視界が悪くなって危ないですから」。ワイシャツの腕をまわった江口靖夫さん(43)の姿は、熊本市営バス小峯営業所(東区)ではすっかりおなじみだ。

小さいころからバスが好きで、大きな車体をハンドル一つで動かす運転手に憧れていた。高校卒業後、市内の食品工場に就職したが、父の勧めもあり22歳で市営バスの乗

務員に転職。以来ずっと「市民の足」を担ってきたが、その仕事も間もなく終わる。運転手になって1年目。病院近くのカープでハンドルを切ったとき、義足を着けた乗客が車内で転んだ。「人の命を預かる大変な仕事だ」とあらためて感じた。本来は業務ではないガラス磨きを長年続けるのも「安全運行のため」。小峯営業所の4年間はほぼ毎日、乗務前や休み時間、非番の日も時間があれば営業所に来て磨く。

運転手 江口靖夫さん

運転手になり20年以上。市営バスを取り巻く状況の厳しさを肌で感じてきた。「昔に比べ乗客が減り、マイカーがすごく増えた。渋滞で定時運行が難しくなった」。民間バス会社への路線移譲が本格化すると、運転手仲間もバスの台数も年々、減っていった。

運行終了は「時代の流れで仕方がない」と受け止めつつ、「市営バスが担ってきた公的な役割はどうなるのか」と複雑な思いが消えない。

市のバス事業がピークだった1969(昭和44)



フロントガラスを洗う江口さん。安全運行のためほぼ毎日続けている＝熊本市東区

最終便まで無事故で

年に349人だった乗務員数は、現在39人(嘱託それぞれ交通局電車課や

市長部局の現業部門などに移り、新たな道を歩む。江口さんも電車課への配置換えが決まっている。市営バスが運行を終了する31日、江口さんは熊本交通センターを午後11時に出発する小峯京塚線の最終便に乗務する予定。勤務は午後からだ

が、朝からいつものようにバスを磨くつもりでいる。「最後の一便まで、事故やトラブルなく務めるのが使命」と言う江口さん。一方で、日に日に寂しさも募る。「4月以降はまだ市営バスを運転しているんじゃないか。そんな気持ちはまだ頭のどこかにあるんです」(小松雄太、森紀子)

走り続けた88年

熊本市営バス運行終了

③

熊本市営バスの開業日は1927（昭和2）年11月23日。3年前に開業した市電に続き、「市民の足」を担う交通手段を充実させるため、バス17台でスタートを切った。

最初の運行区間は、味噌天神環状線▽花畑町▽上熊本駅前▽上熊本駅前▽竜田口駅前―の3路線で計18。戦後の人口増と市街地の拡大に伴い路線が増え、市域に路線網が張り巡らされていった。

市交通局退職者会長 生田敬輔さん（78）「西タのラッシュ時を除けば、満員になることもなかったのは56年。庶民に

市民の移動支えた「足」



市街地の広がりとともに路線を伸ばしていった市営バス。写真は「南部環状線」の開通式＝1968年1月撮影、熊本市島町（現在の南区）

最盛期の69年度には2906万人を運んだ。しかし00台の市営バスが計3かしその後、乗客数は右

地球9520周、13億人利用

熊本市営バスの歩み

1927年11月	営業開始
1930年7月	貸し切り事業開始
1953年6月	6.26水害で全路線被害
1959年8月	大江新局舎完成
1963年5月	中央環状線にワンマンバス登場
1966年9月	バス全車両に運賃箱設置
1969年度	年間乗車人数がピークの3906万人に
1979年8月	貸し切り事業廃止
1982年4月	動物マーク入り系統板開始
1993年10月	レトロ調バス運行開始
1994年8月	リフト付きバス運行開始
1995年9月	スロープ付き超低床バス運行開始
1997年10月	ノンステップバス運行開始
1998年3月	電車・バス共通プリペイドカード（TO熊カード）発売開始
2001年6月	川尻帯山線の川尻市道系統を九州産交、熊本バスに移譲
2007年12月	民間バス3社の共同出資で熊本市営バス設立
2009年4月	都市バスに本山営業所管轄7路線を移譲
2010年3月	全面民間移譲を含む交通事業経営健全化計画策定
2011年4月	上熊本営業所管轄6路線を移譲
2013年4月	複製カラーバス運行開始
2015年3月末	小塚京塚線を都市バスに移譲し運行終了

周下がり。平成に変わるころにはピーク時の半分に減った。乗客減に伴い、

経営悪化が大きな問題に。市電も含めた交通事業全体の累積赤字は2008年度、最悪の51億円まで膨らんだ。

そしてついに、市はバス事業の廃止を決断する。07年12月には、民間

本山営業所管轄の7路線、上熊本営業所の6路線などを順次移譲。00年に29路線・187・8に達した運行区間は、小塚京塚線の16・6を残すのみとなった。そして3月末、当初の計画より1年前倒しで全路線の移譲を終える。

88年間に市営バスが乗せた人数は延べ約13億人、走った距離は約3億8156万。地球を9520周した計算になる。

「今やとを失うような気持ち」と運行終了に寂しさをにじませる生田さん。最終日の31日は、退職者会の有志十数人が小塚営業所などに集まり、乗客への感謝のメッセージを添えたポケットティッシュを配る予定だ。（平井哲子）

走り続けた 88年

熊本市営バス運行の歴史

④

31日、最後の1路線のランテイアが気兼ねせず運行を終える熊本市営バスは、さまざまな場面で臨時便も走らせ「市民の足」となってきた。

2012年7月、熊本市にも甚大な被害を出した九州北部豪雨。泥水に覆われた北区龍田地区に

ポランテイアを運ぶため、市営バス2台が龍田出張所と被災地の間を往復した。

6日間で計460人を運び、復旧を後押し。作業を終えた泥まみれのポ

ランテイアが気兼ねせず座れるよう、市交通局自

動車課の職員が座席にビニールを掛け、汚れるた

びに泥を拭き取った。ポランテイアや被災者の力

になりたい一心だった。吉井康謙長(54)は振り返る。

市営バスは、北区の民間温泉施設が被災者に風呂を無料開放した際にも臨時の送迎バスを運行。5日間で70人が利用し、避難生活の疲れをいやした。

生活に身近な公共交通

市直営の強みを生かし、迅速に災害復旧や被災者支援に動いた市営バス。現行の市地域防災計画では、避難者や救援物資の輸送を担うと位置付けられており、毎年5月の総合防災訓練でも避難バスの出動訓練を実施していた。

市営バスの「機動力」は、市民に身近な分野でも発揮されてきた。その一つが、10年8月に運行を始めた「墓参用臨時バス」。春秋の彼岸の時期とお盆の年3回、小峯京



熊本市営バスが運行する、桃尾墓園行き臨時バスに乗り込む利用者
＝熊本市東区の三山荘バス停

塚線終点の「三山荘」から市営桃尾墓園まで、墓参りに訪れる人を運んだ。 「交通の便が悪く墓参の声を受け、市の福祉担当部署の依頼に交通局が

応じて実現した。中央区の主婦上宏枝さん(48)は「運転しないのでとても助かる。お年寄りも多く、今後も続けてほしい」と願う。

新年度からは熊本市営バスが引き継ぐという。ただ、この春の運行期間(21～23日)の利用者は計132人で、1便あたり平均3人程度。大人190円の運賃で利益が出る数字ではない。

「市営だからこそ、赤字覚悟でも走らせ続けてくれたのでは」。23日の午後、墓参を終えてバ

スに乗り込んだ中央区の男性(76)は、「墓参りの足」の行方に気をもむ。市営バスは「このほか、植木市や成人式などのイベント時の臨時バスも運行してきた。今後、こうした役割をどう引き継ぐのか。

＝終わり

きょう最終便惜しむ声

熊本市営バス 事業終了

「ハンドル握れ 幸せだった」



開元から花束を贈られる熊本市営バスの運転手ら
 31日午後5時半ごろ、市交通局小峯営業所

職員やOBら別れ惜しむ

民間移譲に伴い88年間の運行を終えた熊本市営バスの事業終了式典が31日、東区の市交通局小峯営業所であった。職員やOBらが別れを惜しんだ。

民間移譲に伴い88年乗務した退職者会の生田敬輔会長(78)が「市民の皆さまのおかげで一生懸命に走ってきた。心からお礼を言いたい」と頭を下げた。路線を引き継ぐ熊本市営バスの山内清宏社長(74)は「歴史と伝統を大切に守り、皆さまに愛されるバスを目指したい」と誓った。



近くのひばり保育園児21人も招かれ、代表園児が運転手らに花束を手渡した。閉式後、園児らに乗せた記念バスが市内を一周。今年間、大好きなハンドルを握ることができて本当に幸せだった」と涙を浮かべた。

市営バスは2000年にピークの29路線、187・8人で運行。経営健全化のため、2009年以降、民間3社で設立した熊本市バスへの路線移譲を進めてきた。

(植木泰士)

平成 27年 4月 1日 熊本日新聞社

関係者やファンに見送られ、熊本交通センターを出発する熊本市営バスの最終便
 =31日午後11時すぎ、同市中央区(岩崎健示)



熊本市営バス

88年

さようなら

民間移譲された熊本市営バスの最終便が31日午後11時すぎ、熊本市中央区の熊本交通センターから三山荘(東区戸島町)を運行した。同バスは88年の営業を終えた。【23面に関連記事】

最終便の発車を前に、交通センターの26番乗り場は、帰宅する会社員や学生ら乗客のほか、駆けつけた市民や市交通局OBらであふれた。

乗務を志願した江口靖夫運転手(43)がハンドルを握り、午後11時に緑色の車体のバスは満員で出発。1台では乗り切らず、臨時便1台が後に続き、市交通局職員ら約30人が「さようなら」「ありがとう」と手を振って見送った。(植木泰士)

平成 27年 4月 1日 熊本日新聞社

資料編

運賃の変遷 1951（昭和26）年以降

改定年月日	普通旅客運賃	定期旅客運賃	その他																																		
S26.12.25	(区間運賃制) 2区まで 10円 3区以上 15円 ● 割引乗車券 (12歳未満の小児、障がい者等に適用) 1枚 (10円) ● 普通回数乗車券 11枚綴 (10、15円) ● 割引回数乗車券 11枚綴 (10円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>種別</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">通学定期</td> <td rowspan="4">1か月</td> <td>4キロまで</td> <td>400円</td> </tr> <tr> <td>5キロまで</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <td>6キロまで</td> <td>550円</td> </tr> <tr> <td>6キロ以上</td> <td>600円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3か月</td> <td rowspan="4">1か月</td> <td>4キロまで</td> <td>1,000円</td> </tr> <tr> <td>5キロまで</td> <td>1,300円</td> </tr> <tr> <td>6キロまで</td> <td>1,400円</td> </tr> <tr> <td>6キロ以上</td> <td>1,500円</td> </tr> </tbody> </table> ※ 12歳未満は半額。			種別	金額	通学定期	1か月	4キロまで	400円	5キロまで	500円	6キロまで	550円	6キロ以上	600円	3か月	1か月	4キロまで	1,000円	5キロまで	1,300円	6キロまで	1,400円	6キロ以上	1,500円											
		種別	金額																																		
通学定期	1か月	4キロまで	400円																																		
		5キロまで	500円																																		
		6キロまで	550円																																		
		6キロ以上	600円																																		
3か月	1か月	4キロまで	1,000円																																		
		5キロまで	1,300円																																		
		6キロまで	1,400円																																		
		6キロ以上	1,500円																																		
S31. 8.15		通勤定期の運用開始 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>種別</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">通勤定期</td> <td rowspan="4">1か月</td> <td>4キロまで</td> <td>450円</td> </tr> <tr> <td>5キロまで</td> <td>550円</td> </tr> <tr> <td>6キロまで</td> <td>600円</td> </tr> <tr> <td>7キロ以上</td> <td>700円</td> </tr> </tbody> </table>			種別	金額	通勤定期	1か月	4キロまで	450円	5キロまで	550円	6キロまで	600円	7キロ以上	700円																					
		種別	金額																																		
通勤定期	1か月	4キロまで	450円																																		
		5キロまで	550円																																		
		6キロまで	600円																																		
		7キロ以上	700円																																		
S32. 7. 1	(区間運賃制) 2区まで 10円 3区 15円 4区 20円 5区以上 25円 ※ 賃率 3円45銭 ● 割引乗車券 (12歳未満の小児、障がい者等に適用) 1枚 (5、10、15円) ● 普通回数乗車券 11枚綴 (10、15、20、25円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>種別</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">通勤定期</td> <td rowspan="5">1か月</td> <td>2区まで</td> <td>480円</td> </tr> <tr> <td>3区</td> <td>590円</td> </tr> <tr> <td>4区</td> <td>660円</td> </tr> <tr> <td>5区以上</td> <td>750円</td> </tr> <tr> <td>2区まで</td> <td>420円</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">学生定期</td> <td rowspan="5">1か月</td> <td>3区</td> <td>540円</td> </tr> <tr> <td>4区</td> <td>600円</td> </tr> <tr> <td>5区以上</td> <td>680円</td> </tr> <tr> <td>2区まで</td> <td>1,080円</td> </tr> <tr> <td>3区</td> <td>1,490円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3か月</td> <td rowspan="3">1か月</td> <td>4区</td> <td>1,620円</td> </tr> <tr> <td>5区以上</td> <td>1,800円</td> </tr> </tbody> </table> ※ 12歳未満は半額。			種別	金額	通勤定期	1か月	2区まで	480円	3区	590円	4区	660円	5区以上	750円	2区まで	420円	学生定期	1か月	3区	540円	4区	600円	5区以上	680円	2区まで	1,080円	3区	1,490円	3か月	1か月	4区	1,620円	5区以上	1,800円	● 貸切運賃 ①貸切制 1時間 1,200円 1日 (8時間) 8,800円 ②キロ制 1キロ当り 120円 待時間 (1時間) 550円 回送料 (1キロ) 80円 ※ 座席定員 39人以下の車両を基準運賃とし、40人を超える車両を使用する場合には、定員 10人を増すごとに 5%を加算する。
		種別	金額																																		
通勤定期	1か月	2区まで	480円																																		
		3区	590円																																		
		4区	660円																																		
		5区以上	750円																																		
		2区まで	420円																																		
学生定期	1か月	3区	540円																																		
		4区	600円																																		
		5区以上	680円																																		
		2区まで	1,080円																																		
		3区	1,490円																																		
3か月	1か月	4区	1,620円																																		
		5区以上	1,800円																																		
		S35		● 貸切運賃 ①時間制 5時間までの1時間 大型車 1,600円 中型車 1,500円 5時間を超える1時間 大型車 1,200円 中型車 1,100円 ②キロ制 1キロ当り (50キロまで) 大型車 160円 中型車 150円 大型車 ……36人以上 中型車 ……20人～35人まで																																	

改定年月日	普通旅客運賃	定期旅客運賃	その他																																																
S38. 3.20 貸切運賃は S39.1.5	(特殊区間制) 初区間 大人 15 円、小児 10 円 2 区 大人 20 円、小児 10 円 3 区 大人 25 円、小児 15 円 ※賃率 4 円 00 銭 ● 普通回数乗車券 11 枚綴 (15、20、25 円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>種別</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">乗換ない場合</td> <td rowspan="3">通勤</td> <td>15 円区間</td> <td>630 円</td> </tr> <tr> <td>20 円区間</td> <td>840 円</td> </tr> <tr> <td>25 円区間</td> <td>1,050 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">乗換える場合</td> <td rowspan="3">通勤</td> <td>15 円区間</td> <td>540 円</td> </tr> <tr> <td>20 円区間</td> <td>720 円</td> </tr> <tr> <td>25 円区間</td> <td>900 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">乗換える場合</td> <td rowspan="6">通勤</td> <td>15 円相互間</td> <td>840 円</td> </tr> <tr> <td>20 円相互間</td> <td>1,260 円</td> </tr> <tr> <td>25 円相互間</td> <td>1,600 円</td> </tr> <tr> <td>15 円～20 円</td> <td>1,180 円</td> </tr> <tr> <td>15 円～25 円</td> <td>1,260 円</td> </tr> <tr> <td>20 円～25 円</td> <td>1,470 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">乗換える場合</td> <td rowspan="6">通学</td> <td>15 円相互間</td> <td>720 円</td> </tr> <tr> <td>20 円相互間</td> <td>1,080 円</td> </tr> <tr> <td>25 円相互間</td> <td>1,370 円</td> </tr> <tr> <td>15 円～20 円</td> <td>1,010 円</td> </tr> <tr> <td>15 円～25 円</td> <td>1,080 円</td> </tr> <tr> <td>20 円～25 円</td> <td>1,260 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記の通学は 12 歳以上。12 歳未満の通学定期は、上記通学定期の 5 割引。 ※ 3 か月定期は、1 か月定期の 3 倍の 5 分引き。</p>			種別	金額	乗換ない場合	通勤	15 円区間	630 円	20 円区間	840 円	25 円区間	1,050 円	乗換える場合	通勤	15 円区間	540 円	20 円区間	720 円	25 円区間	900 円	乗換える場合	通勤	15 円相互間	840 円	20 円相互間	1,260 円	25 円相互間	1,600 円	15 円～20 円	1,180 円	15 円～25 円	1,260 円	20 円～25 円	1,470 円	乗換える場合	通学	15 円相互間	720 円	20 円相互間	1,080 円	25 円相互間	1,370 円	15 円～20 円	1,010 円	15 円～25 円	1,080 円	20 円～25 円	1,260 円	<p>● 貸切運賃</p> <p>①時間制</p> <p>5 時間までの 1 時間</p> <p>大型車 2,000 円 中型車 1,500 円 小型車 1,200 円</p> <p>5 時間を超える 1 時間</p> <p>大型車 1,400 円 中型車 1,100 円 小型車 800 円</p> <p>②キロ制</p> <p>1 キロ当たり (50 キロまで)</p> <p>大型車 200 円 中型車 150 円 小型車 120 円</p> <p>大型車 …… 36 人以上 中型車 …… 20 人～ 35 人まで 小型車 …… 19 人まで</p>
		種別	金額																																																
乗換ない場合	通勤	15 円区間	630 円																																																
		20 円区間	840 円																																																
		25 円区間	1,050 円																																																
乗換える場合	通勤	15 円区間	540 円																																																
		20 円区間	720 円																																																
		25 円区間	900 円																																																
乗換える場合	通勤	15 円相互間	840 円																																																
		20 円相互間	1,260 円																																																
		25 円相互間	1,600 円																																																
		15 円～20 円	1,180 円																																																
		15 円～25 円	1,260 円																																																
		20 円～25 円	1,470 円																																																
乗換える場合	通学	15 円相互間	720 円																																																
		20 円相互間	1,080 円																																																
		25 円相互間	1,370 円																																																
		15 円～20 円	1,010 円																																																
		15 円～25 円	1,080 円																																																
		20 円～25 円	1,260 円																																																
S41. 3. 1 貸切運賃は S44.4.1	(区間制) 初区間 大人 20 円、小児 10 円 2 区 大人 30 円、小児 15 円 3 区 大人 40 円、小児 20 円 ● 普通回数乗車券 11 枚綴 (20、30、40 円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>種別</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">乗換ない場合</td> <td rowspan="3">通勤</td> <td>20 円区間</td> <td>840 円</td> </tr> <tr> <td>30 円区間</td> <td>1,260 円</td> </tr> <tr> <td>40 円区間</td> <td>1,680 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">乗換える場合</td> <td rowspan="3">通勤</td> <td>20 円区間</td> <td>720 円</td> </tr> <tr> <td>30 円区間</td> <td>1,080 円</td> </tr> <tr> <td>40 円区間</td> <td>1,440 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">乗換える場合</td> <td rowspan="6">通勤</td> <td>20 円相互間</td> <td>1,260 円</td> </tr> <tr> <td>20 円～30 円</td> <td>1,680 円</td> </tr> <tr> <td>30 円相互間</td> <td>1,890 円</td> </tr> <tr> <td>20 円～40 円</td> <td>2,100 円</td> </tr> <tr> <td>30 円～40 円</td> <td>2,310 円</td> </tr> <tr> <td>20 円相互間</td> <td>1,080 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">乗換える場合</td> <td rowspan="4">通学</td> <td>20 円～30 円</td> <td>1,440 円</td> </tr> <tr> <td>30 円相互間</td> <td>1,620 円</td> </tr> <tr> <td>20 円～40 円</td> <td>1,800 円</td> </tr> <tr> <td>30 円～40 円</td> <td>1,980 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記の通学は 12 歳以上。12 歳未満の通学定期は、上記通学定期の 5 割引。 ※ 3 か月定期は、1 か月定期の 3 倍の 5 分引き。 ※通勤通学は、通勤と通学 (中学生以上) の合算額の 50% 割引。</p>			種別	金額	乗換ない場合	通勤	20 円区間	840 円	30 円区間	1,260 円	40 円区間	1,680 円	乗換える場合	通勤	20 円区間	720 円	30 円区間	1,080 円	40 円区間	1,440 円	乗換える場合	通勤	20 円相互間	1,260 円	20 円～30 円	1,680 円	30 円相互間	1,890 円	20 円～40 円	2,100 円	30 円～40 円	2,310 円	20 円相互間	1,080 円	乗換える場合	通学	20 円～30 円	1,440 円	30 円相互間	1,620 円	20 円～40 円	1,800 円	30 円～40 円	1,980 円	<p>● 貸切運賃</p> <p>①キロ制 (1 キロ当たり)</p> <p>50 キロまで</p> <p>大型車 220 円 中型車 170 円 小型車 150 円</p> <p>50 ～ 200 キロまで</p> <p>大型車 160 円 中型車 130 円 小型車 110 円</p> <p>200 キロを超える</p> <p>大型車 130 円 中型車 110 円 小型車 90 円</p> <p>②行先別運賃</p> <p>③最低運賃</p> <p>大型車 4,000 円 中型車 3,000 円 小型車 2,000 円</p>				
		種別	金額																																																
乗換ない場合	通勤	20 円区間	840 円																																																
		30 円区間	1,260 円																																																
		40 円区間	1,680 円																																																
乗換える場合	通勤	20 円区間	720 円																																																
		30 円区間	1,080 円																																																
		40 円区間	1,440 円																																																
乗換える場合	通勤	20 円相互間	1,260 円																																																
		20 円～30 円	1,680 円																																																
		30 円相互間	1,890 円																																																
		20 円～40 円	2,100 円																																																
		30 円～40 円	2,310 円																																																
		20 円相互間	1,080 円																																																
乗換える場合	通学	20 円～30 円	1,440 円																																																
		30 円相互間	1,620 円																																																
		20 円～40 円	1,800 円																																																
		30 円～40 円	1,980 円																																																
S45. 4. 1	(均一制) 30 円 (対キロ区間制) ● 最低運賃 (大人 20 円、小児 10 円) 初乗区間 20 円、1 区毎に 10 円増し ※基準賃率 6 円 50 銭 ● 普通回数乗車券 11 枚綴 (20～60 円) ● 通学回数乗車券 10 枚綴 (20～60 円) 2 割引	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>割引率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通勤</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>通学 (中学生以上)</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>通学 (小学生)</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>通勤通学</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※普通運賃を 60 倍したもののから上記の割引率を乗じる。 ※ 3 か月定期は、1 か月定期の 3 倍の 5 分引き。 ※通勤通学は、通勤と通学 (中学生以上) の合算額の 50% 割引。</p>	種別	割引率	通勤	25%	通学 (中学生以上)	40%	通学 (小学生)	70%	通勤通学	—																																							
種別	割引率																																																		
通勤	25%																																																		
通学 (中学生以上)	40%																																																		
通学 (小学生)	70%																																																		
通勤通学	—																																																		

改定年月日	普通旅客運賃	定期旅客運賃	その他												
S48. 3. 1	<p>(均一制) 40円 荒尾橋・花園校前・電通学園前・永浦橋・黒髪6丁目・南平・東水前寺・東出水・北窪・熊商前・江津遊園地前・出仲間・下近見・野口町に囲まれた地域。</p> <p>(対キロ区間制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最低運賃(大人30円、小児20円) 割引運賃を除き、1区間の最低運賃を30円としてこれを超える区間については、1区増す毎に10円加算。ただし、他の事業者が主として経営する路線にあっては、基準賃率9円00銭に基づく対キロ区間制 ※基準賃率9円00銭 ● 普通回数乗車券 11枚綴(20~60円) ● 通学回数乗車券 13枚綴(20~60円) 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>割引率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通勤</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>通学(中学生以上)</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>通学(小学生)</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>通勤通学</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電車・自動車共通</td> <td>高額の方</td> </tr> </tbody> </table> <p>※普通運賃を60倍したもののから上記の割引率を乗じる。 ※3か月定期は、1か月定期の3倍の5分引き。 ※通勤通学は、通勤と通学(中学生以上)の合算額の50%割引。</p>	種別	割引率	通勤	25%	通学(中学生以上)	40%	通学(小学生)	70%	通勤通学	—	電車・自動車共通	高額の方	<ul style="list-style-type: none"> ● 貸切運賃 <ul style="list-style-type: none"> ①キロ制(1キロ当り) 100キロまで 大型車 260円 中型車 220円 小型車 180円 100~300キロまで 大型車 190円 中型車 150円 小型車 130円 300キロを超える 大型車 160円 中型車 130円 小型車 110円 ②時間制(1時間当り) 1時間以内 大型車 7,100円 中型車 5,400円 小型車 4,800円 1~8時間まで 大型車 4,700円 中型車 3,600円 小型車 3,200円
種別	割引率														
通勤	25%														
通学(中学生以上)	40%														
通学(小学生)	70%														
通勤通学	—														
電車・自動車共通	高額の方														
S49.10. 4 貸切運賃は S49.10.29	<p>(対キロ区間制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最低運賃(大人40円、小児20円) ※賃率 2キロまで 24円00銭 2~30キロまで 12円00銭 ※基準賃率12円00銭 <p>但し、旧運賃の1.7倍を超えるものは、S50.4.3までは1.7倍以内の額(暫定運賃額)</p> <p>(共通回数券)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 普通回数乗車券(33枚綴)600円 ● 通学回数乗車券(39枚綴)600円 		<ul style="list-style-type: none"> ● 貸切運賃 <ul style="list-style-type: none"> ①キロ制(1キロ当り) 100キロまで 大型車 360円 中型車 280円 小型車 250円 100~300キロまで 大型車 270円 中型車 210円 小型車 180円 300キロを超える 大型車 220円 中型車 180円 小型車 150円 ②時間制(1時間当り) 1時間以内 大型車 9,800円 中型車 7,600円 小型車 6,700円 1~8時間まで 大型車 6,500円 中型車 5,100円 小型車 4,500円 												
S51.10. 6	<p>(対キロ区間制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最低運賃(大人60円、小児30円) ※賃率 2キロまで 32円00銭 2~15キロまで 13円50銭 15~30キロまで 12円20銭 ※基準賃率13円50銭 <p>(共通回数券)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 普通回数乗車券 11枚綴(60~110円) 組券(600円券1種、1,000円券3種) ● 通学回数乗車券 13枚綴(60~110円) 組券(600円券1種、1,000円券2種) 														

改定年月日	普通旅客運賃	定期旅客運賃	その他
S52. 7.23 貸切運賃は S52. 6. 1	(対キロ区間制) ● 最低運賃(大人60円、小児30円) ※賃率 2キロまで 31円20銭 2～15キロまで 15円60銭 15～30キロまで 14円00銭 ※基準賃率15円60銭		● 貸切運賃 ①キロ制(1キロ当り) 100キロまで 大型車 410円 中型車 320円 小型車 280円 100～300キロまで 大型車 310円 中型車 240円 小型車 200円 300キロを超える 大型車 250円 中型車 200円 小型車 170円 ②時間制(1時間当り) 1時間以内 大型車 11,200円 中型車 8,700円 小型車 7,500円 1～8時間まで 大型車 7,500円 中型車 5,800円 小型車 5,000円
S53.10.11	(対キロ区間制) ● 最低運賃(大人70円、小児40円) ※賃率 2キロまで 35円80銭 2～15キロまで 17円90銭 15～30キロまで 16円10銭 ※基準賃率17円90銭 (共通回数券) ● 普通回数乗車券 11枚綴(70～110円) 組券(600円券1種、1,000円券3種) ● 通学回数乗車券 13枚綴(70～110円) 組券(600円券1種、1,000円券2種)		
S54. 8. 1			貸切運送事業の廃止
S55.10. 3	(対キロ区間制) ● 最低運賃(大人80円、小児40円) ※賃率 2キロまで 41円00銭 2～15キロまで 20円50銭 15～30キロまで 18円50銭 ※基準賃率20円50銭 (1日乗車券) 区間指定(大人500円、小児250円) (共通回数券) ● 普通回数乗車券 11枚綴(80～120円) 組券(1,000円券5種) ● 通学回数乗車券 13枚綴(80～120円) 組券(1,000円券3種)		

改定年月日	普通旅客運賃	定期旅客運賃	その他																
S57.10. 1	<p>(対キロ区間制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最低運賃(大人90円、小児50円) ※賃率 2キロまで 47円20銭 2～15キロまで 23円60銭 15～30キロまで 21円20銭 ※基準賃率23円60銭 <p>(共通回数券)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 普通回数乗車券 11枚綴(90～150円) 組券(1,000円券7種) ● 通学回数乗車券 13枚綴(90～150円) 組券(1,000円券1種) 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>割引率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通勤</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>通学(高校生以上)</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>通学(中学生)</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>通学(小学生)</td> <td>72.5%</td> </tr> <tr> <td>通勤通学</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電車・自動車共通</td> <td>高額の方</td> </tr> </tbody> </table> <p>※普通運賃を60倍したのから上記の割引率を乗じる。</p> <p>※3か月定期は、1か月定期の3倍の5分引き。</p> <p>※通勤通学は、通勤と通学(高校生以上)の合算額の50%割引。</p>	種別	割引率	通勤	30%	通学(高校生以上)	40%	通学(中学生)	45%	通学(小学生)	72.5%	通勤通学	—	電車・自動車共通	高額の方			
種別	割引率																		
通勤	30%																		
通学(高校生以上)	40%																		
通学(中学生)	45%																		
通学(小学生)	72.5%																		
通勤通学	—																		
電車・自動車共通	高額の方																		
S59.10. 1	<p>(対キロ区間制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最低運賃(大人100円、小児50円) ※賃率 2キロまで 52円80銭 2～15キロまで 26円40銭 15～30キロまで 23円80銭 ※基準賃率26円40銭 <p>(共通回数券)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 普通回数乗車券 11枚綴(100～160円) 組券(1,000円券6種) ● 通学回数乗車券 13枚綴(100～160円) 組券(1,000円券1種) 																		
S61.11.27	<p>(対キロ区間制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最低運賃(大人110円、小児60円) ※賃率 2キロまで 55円20銭 2～15キロまで 27円60銭 15～30キロまで 24円80銭 ※基準賃率27円60銭 <p>(共通回数券)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 普通回数乗車券 10枚綴(110円) 11枚綴(110～170円) 組券(1,000円券6種) ● 通学回数乗車券 13枚綴(110～170円) 組券(1,000円券1種) 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>割引率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通勤</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>通学(高校生以上)</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>通学(中学生)</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>通学(小学生)</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>通勤通学</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電車・自動車共通</td> <td>高額の方</td> </tr> <tr> <td>片道</td> <td>往復の50%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※普通運賃を60倍したのから上記の割引率を乗じる。</p> <p>※3か月定期は、1か月定期の3倍の5分引き。</p> <p>※通勤通学は、通勤と通学(高校生以上)の合算額の50%割引。</p>	種別	割引率	通勤	30%	通学(高校生以上)	40%	通学(中学生)	50%	通学(小学生)	75%	通勤通学	—	電車・自動車共通	高額の方	片道	往復の50%	
種別	割引率																		
通勤	30%																		
通学(高校生以上)	40%																		
通学(中学生)	50%																		
通学(小学生)	75%																		
通勤通学	—																		
電車・自動車共通	高額の方																		
片道	往復の50%																		

改定年月日	普通旅客運賃	定期旅客運賃	その他																										
H 元. 9. 1	<p>(対キロ区間制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最低運賃(大人120円、小児60円) <p>※賃率</p> <table border="0"> <tr> <td>2キロまで</td> <td>58円20銭</td> </tr> <tr> <td>2～10キロまで</td> <td>29円10銭</td> </tr> <tr> <td>10～20キロまで</td> <td>26円20銭</td> </tr> <tr> <td>20キロを超える</td> <td>23円30銭</td> </tr> </table> <p>※基準賃率29円10銭</p> <p>(共通回数券)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 普通回数乗車券 11枚綴(100～200円) 組券(1,000円券6種) ● 通学回数乗車券 13枚綴(100～200円) 組券(1,000円券1種) 	2キロまで	58円20銭	2～10キロまで	29円10銭	10～20キロまで	26円20銭	20キロを超える	23円30銭	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>割引率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通勤</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>企業</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>通学(高校生以上)</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>通学(中学生)</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>通学(小学生)</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>通勤通学</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電車・自動車共通</td> <td>高額の方</td> </tr> <tr> <td>片道</td> <td>往復の50%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※普通運賃を60倍したのから上記の割引率を乗じる。 ※3か月定期は、1か月定期の3倍の5分引き。 ※通勤通学は、通勤と通学(高校生以上)の合算額の50%割引。</p>	種別	割引率	通勤	30%	企業	35%	通学(高校生以上)	40%	通学(中学生)	50%	通学(小学生)	75%	通勤通学	—	電車・自動車共通	高額の方	片道	往復の50%	
2キロまで	58円20銭																												
2～10キロまで	29円10銭																												
10～20キロまで	26円20銭																												
20キロを超える	23円30銭																												
種別	割引率																												
通勤	30%																												
企業	35%																												
通学(高校生以上)	40%																												
通学(中学生)	50%																												
通学(小学生)	75%																												
通勤通学	—																												
電車・自動車共通	高額の方																												
片道	往復の50%																												
H 4.10. 1	<p>(対キロ区間制)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最低運賃(大人130円、小児70円) <p>※賃率</p> <table border="0"> <tr> <td>2キロまで</td> <td>61円40銭</td> </tr> <tr> <td>2～10キロまで</td> <td>30円70銭</td> </tr> <tr> <td>10～20キロまで</td> <td>27円60銭</td> </tr> <tr> <td>20キロを超える</td> <td>24円60銭</td> </tr> </table> <p>※基準賃率30円70銭</p> <p>(1日乗車券)</p> <p>区間指定(大人500円、小児250円) 全線(大人1,000円、小児500円) 熊本城周遊(大人300円、小児150円)</p> <p>(共通回数券)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 普通回数乗車券 11枚綴(100～200円) 組券(1,000円券6種) ● 通学回数乗車券 13枚綴(100～200円) 組券(1,000円券2種) <p>(乗継回数券)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動車普通(11枚綴) ● 自動車通学(13枚綴) 	2キロまで	61円40銭	2～10キロまで	30円70銭	10～20キロまで	27円60銭	20キロを超える	24円60銭	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>割引率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通勤</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>企業</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>通学(高校生以上)</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>通学(中学生)</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>通学(小学生)</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>通勤通学</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電車・自動車共通</td> <td>高額の方</td> </tr> <tr> <td>片道</td> <td>往復の50%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※普通運賃を60倍したのから上記の割引率を乗じる。 ※3か月定期は、1か月定期の3倍の5分引き。 ※通勤通学は、通勤と通学(高校生以上)の合算額の50%割引。</p>	種別	割引率	通勤	30%	企業	35%	通学(高校生以上)	45%	通学(中学生)	50%	通学(小学生)	75%	通勤通学	—	電車・自動車共通	高額の方	片道	往復の50%	
2キロまで	61円40銭																												
2～10キロまで	30円70銭																												
10～20キロまで	27円60銭																												
20キロを超える	24円60銭																												
種別	割引率																												
通勤	30%																												
企業	35%																												
通学(高校生以上)	45%																												
通学(中学生)	50%																												
通学(小学生)	75%																												
通勤通学	—																												
電車・自動車共通	高額の方																												
片道	往復の50%																												
H 7. 4. 1	<p>※基準運賃 乗継する停留所を起点として、電車・バスのそれぞれの区間運賃から30円割引して算出した額。 (電車・バス乗継回数券)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 普通(11枚綴) ● 通学(11枚綴) <p>※基準運賃を10倍した額</p>	<p>※基準運賃 乗継する停留所を起点として、電車・バスのそれぞれの区間運賃から30円割引して算出した額。 (電車・バス乗継定期券)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>割引率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通勤</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>企業</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>通学(中学生)</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>通学(高校生以上)</td> <td>45%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※基準運賃を60倍したのから上記の割引率を乗じる。 ※3か月定期は、1か月定期の3倍の5分引き。</p>	種別	割引率	通勤	30%	企業	35%	通学(中学生)	50%	通学(高校生以上)	45%																	
種別	割引率																												
通勤	30%																												
企業	35%																												
通学(中学生)	50%																												
通学(高校生以上)	45%																												

改定年月日	普通旅客運賃	定期旅客運賃	その他																				
H 8. 7.13			貸切旅客事業の開始。(競輪専用バス) ○運賃 ①キロ制(1キロ当り) 100キロまで 大型車 660円 中型車 510円 小型車 410円 100～300キロまで 大型車 510円 中型車 390円 小型車 320円 300キロを超える 大型車 400円 中型車 320円 小型車 280円 ②時間制(1時間当り) 大型車 12,200円 中型車 9,500円 小型車 8,100円 ※上記運賃で算出した額に消費税(税率5%)を転嫁する。																				
H10. 3. 1	<p>※消費税分の転嫁(税率5%) (対キロ区間制)</p> <p>●最低運賃(大人130円、小児70円)</p> <p>※賃率</p> <p>2キロまで 63円00銭 2～10キロまで 31円50銭 10～20キロまで 28円40銭 20キロを超える 25円20銭</p> <p>※基準賃率31円50銭 (乗継回数券)</p> <p>●自動車普通(11枚綴) ●自動車通学(13枚綴) ●電車・自動車普通(11枚綴) ●電車・自動車通学(13枚綴)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>割引率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通勤</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>企業</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>通学(高校生以上)</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>通学(中学生)</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>通学(小学生)</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>通勤通学</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電車・自動車共通</td> <td>高額の方</td> </tr> <tr> <td>電車・自動車乗継</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>片道</td> <td>往復の50%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※普通運賃を60倍したもののから上記の割引率を乗じる。 ※3か月定期は、1か月定期の3倍の5分引き。 ※通勤通学は、通勤と通学(高校生以上)の合算額の50%割引。 ※乗継定期は、電車・バスの区間運賃から各々30円割引した額の60倍したもののから割引率を乗じる。 ※消費税分の転嫁(税率5%) 改定前の定期旅客運賃に103分の105を乗じて得た額。</p>	種別	割引率	通勤	30%	企業	35%	通学(高校生以上)	45%	通学(中学生)	50%	通学(小学生)	75%	通勤通学	—	電車・自動車共通	高額の方	電車・自動車乗継	—	片道	往復の50%	
種別	割引率																						
通勤	30%																						
企業	35%																						
通学(高校生以上)	45%																						
通学(中学生)	50%																						
通学(小学生)	75%																						
通勤通学	—																						
電車・自動車共通	高額の方																						
電車・自動車乗継	—																						
片道	往復の50%																						
H10. 3.23	<p>○共通カード回数券(To熊カード) 発売開始</p> <table> <thead> <tr> <th></th> <th>販売額</th> <th>利用額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">普通</td> <td>1,000円</td> <td>1,100円</td> </tr> <tr> <td>3,000円</td> <td>3,300円</td> </tr> <tr> <td>5,000円</td> <td>5,600円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">通学</td> <td>1,000円</td> <td>1,300円</td> </tr> <tr> <td>3,000円</td> <td>3,900円</td> </tr> <tr> <td>5,000円</td> <td>6,500円</td> </tr> </tbody> </table>		販売額	利用額	普通	1,000円	1,100円	3,000円	3,300円	5,000円	5,600円	通学	1,000円	1,300円	3,000円	3,900円	5,000円	6,500円					
	販売額	利用額																					
普通	1,000円	1,100円																					
	3,000円	3,300円																					
	5,000円	5,600円																					
通学	1,000円	1,300円																					
	3,000円	3,900円																					
	5,000円	6,500円																					

改定年月日	普通旅客運賃	定期旅客運賃	その他															
H14. 9. 1		※定期券割引率の変更 通勤 30%→40% 企業 35%→45% 通学(高校生以上) 45%→50% ○エコ定期の発売開始 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>券面表示区間</th> <th>券面表示区間外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">通勤定期券所持者</td> <td>—</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">同伴者</td> <td>大人</td> <td>100円</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td>小児</td> <td>50円</td> <td>50円</td> </tr> </tbody> </table> ※適用方法 電車・バスの通勤定期券所持者及び同伴者(同居している2親等以内の家族)とし、利用人員は本人を含む5名まで。 利用期間は、土曜・日曜・祝日・年末年始(12/29～1/3)とし、支払い方法は現金のみとする。			券面表示区間	券面表示区間外	通勤定期券所持者		—	100円	同伴者	大人	100円	100円	小児	50円	50円	
		券面表示区間	券面表示区間外															
通勤定期券所持者		—	100円															
同伴者	大人	100円	100円															
	小児	50円	50円															
H17.10. 1	※1日乗車券の刷新 ・全線券の販売価格を変更 (大人) 1,000円→700円 (小児) 500円→350円 ・観光文化施設利用割引券6枚付 (区間指定・全線券) 区間指定(大人500円、小児250円) 全線(大人700円、小児350円) 熊本城周遊(大人300円、小児150円)																	
H18. 1. 1	※乗継回数券の発売中止 ・自動車普通(11枚綴) ・自動車通学(13枚綴) ・電車・自動車普通(11枚綴) ・電車・自動車通学(13枚綴)																	
H18.10. 1	※熊本城周遊1日乗車券の発売中止 (大人300円、小児150円)																	
H19. 7. 7		○夏休み子ども定期券の発売開始 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>対象者</td> <td>小学生以下</td> </tr> <tr> <td>販売額</td> <td>1,000円</td> </tr> <tr> <td>利用範囲</td> <td>市電・市営バスの全線</td> </tr> <tr> <td>利用期間</td> <td>夏休み期間中</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	小学生以下	販売額	1,000円	利用範囲	市電・市営バスの全線	利用期間	夏休み期間中								
対象者	小学生以下																	
販売額	1,000円																	
利用範囲	市電・市営バスの全線																	
利用期間	夏休み期間中																	
H19. 7.21	○2日乗車券の発売開始 区間指定(大人800円、小児400円) ・観光文化施設利用割引券10枚付																	
H21. 7. 6		※夏休み子ども定期券の刷新 ・九州産交バス(株)、産交バス(株)、熊本電気鉄道(株)、熊本バス(株)、熊本都市バス(株)と共通化。 ・利用範囲は各事業者が指定する路線(高速バス等を除く)。																

改定年月日	普通旅客運賃	定期旅客運賃	その他
H22. 4. 1	※1日・2日乗車券の刷新 ・九州産交バス(株)、産交バス(株)、熊本電気鉄道(株)、熊本都市バス(株)と共通化。 ・1日・2日乗車券ともに施設利用割引券8枚付。 ・割引対象施設を8施設追加。 (1日乗車券) 区間指定①(大人500円、小児250円) 区間指定②(大人700円、小児350円) 熊本県内版(大人1,500円、小児750円) (2日乗車券) 区間指定①(大人800円、小児400円)		
H23. 4. 1	○免許返納者割引乗車証の運用開始 ・熊本県内在住の65歳以上で、運転免許証を自主返納し「申請による運転免許の取り消し通知書」または「運転経歴証明書」の交付を受けたものが対象。 ・普通運賃を5割の範囲内で割引。		
H24. 4. 1	※1日・2日乗車券ともに施設割引券2枚付きに変更。		
H26. 4. 1	※消費税分の転嫁(税率8%) (対キロ区間制) ●最低運賃(大人150円、小児80円) ※賃率 2キロまで 65円00銭 2～10キロまで 32円50銭 10～20キロまで 29円30銭 20キロを超える 26円00銭 ※基準賃率32円50銭		



1928(昭和3)年 シボレーバス



1926-30(昭和初期)頃 乗合バス



1959(昭和34)年 大江局舎



1961(昭和36)年 帯山営業所

- S 2. 8.27 市営バス営業認可
- S 2.11.23 市営バス営業開始 運賃1区4銭(全線5区)
(第1号系統)味噌天神環状線
(第2号系統)花畑町～上熊本駅前
(第3号系統)上熊本駅前～竜田口駅前
- S 3. 7.15 火災により自動車課事務所、自動車車庫、バス焼失
- S 3.10.29 自動車課事務所、自動車車庫新築落成
- S 6. 5.23 (京町線)運行開始 花畑町～池田町(竹田バスより買収)
- S12. 6.14 (島崎線)運行開始 花畑町～島崎岳林寺
- S13. 3.15 (画図線)運行開始 画図～水前寺
- S25. 7.10 (第一環状線)運行開始 熊本駅前～渡鹿～上熊本駅前～段山～熊本駅前
- S26. 4. 5 (第二環状線)運行開始 子飼橋～尚綱校前～市営屠場～南熊本駅前～
八王寺～水前寺～子飼橋
- (野口線)運行開始 花畑町～野口町
- (京塚線)路線延長 京塚～新外
- (京町線)路線延長 池田町～大窪
- S26.12.25 運賃改定 1、2区10円、3区以上15円(区間制度復活)
- S27.10. 1 地方公営企業法施行
- S28. 6.26 6,26大水害により全路線被害を受ける
- S29.10. 1 熊本交通観光大博覧会開催
- S30. 8. 2 自動車課移転(本山町)
- S31. 3.31 (花園線)運行開始 花畑町～花園校前
(秋津線)運行開始 花畑町～秋津町
(御幸線)運行開始 南熊本駅前～御幸木部町
(四方池線)運行開始 花畑町～城西校前
- S32. 6. 1 運賃改定 2区まで10円、3区以上1区毎に5円増(賃率3円45銭)
- S32. 7. 1 7.26水害によりバス路線が一部不通になる
- S32.12.22 (熊本駅線)運行開始 熊本駅前～花畑町
- S33.11.18 (新外線)運行開始 熊本駅前～新外(熊本駅線)廃止
- S33.12.27 (川尻線)運行開始 大渡～花畑町
- S34. 8. 1 大江新局舎落成
- S34.10. 1 (東部環状線)運行開始
(池田大窪線)路線延長 大窪～たけみや
(花園線)路線延長 花園～柿原
- S35. 6.27 (保田窪線)運行開始
- S35. 9. 1 (中央環状線)運行開始
(帯山線)運行開始
(空港線)運行開始
- S36. 2.11 帯山営業所新設
- S36. 3. 1 (京塚上熊本線)運行開始 京塚～子飼橋～上熊本駅前
(東部環状線)廃止
(渡瀬線)運行開始 花畑町～子飼橋～北水前寺
- S36. 5.10 (京塚線)急行運行開始(朝ラッシュ時) 花畑町～京塚
- S37. 1. 1 (御幸線)長六橋経由を銀座橋経由に変更
- S37. 5.15 (保田窪線)路線延長 帯山小学校～帯山
- S37. 6. 1 (竜田口線)急行運行開始 花畑町～竜田口駅前
- S38. 2.25 (池田大窪線)路線延長 花畑町～熊本駅前
(たけみや線)路線延長 秋津～電通学園前



手動運賃箱



1965(昭和40)頃 乗合バス



1969(昭和44)年 坪井営業所



巻取り式運賃表示器

- S38. 3. 3 (健軍南町線)運行開始 花畑町～若葉小学校前
- S38. 3.10 (京塚荒尾橋線)運行開始 荒尾橋～京塚
- S38. 3.20 運賃改定 初区間15円 2区20円 3区25円(賃率4円)
- S38. 5. 1 ワンマンバス登場(中央環状線)5台
- S38.12.15 (昭和町線)運行開始 上熊本駅前～昭和町
- S40. 7.25 (画図線)路線延長 画図橋～烏ヶ江
- S41. 3. 1 運賃改定 初区間20円 2区30円 3区40円
- S41. 9. 1 (佐土原線)運行開始 花畑町～京塚～榎団地
- S41. 9.13 バス全車両に運賃箱設置
- S42. 1.25 (秋津沼山津線)運行開始 花畑町～秋津新町
- S42. 3. 1 (県庁環状線)運行開始 県庁前～桜町～上熊本駅前～子飼橋～県庁前
- (熊本駅県庁線)運行開始 熊本駅前～本荘町～県会議事堂前
- S42. 9.10 (城北線)運行開始 黒髪車庫～子飼橋～県会議事堂前
- S43. 1. 7 (南部環状線)運行開始 花畑町～尚絅校前～島団地～熊本駅前～花畑町
- S43. 1.13 (南郷団地線)運行開始 花畑町～熊高前～南郷団地
- S43. 4. 1 (江津団地線)運行開始 花畑町～江津団地
- S44. 1.31 (高平線)運行開始 花畑町～高平団地
- S44. 3. 5 交通センター落成式
- S44. 4.30 坪井営業所新設
- S44. 5. 1 (小峯線)運行開始 交通センター～小峯
- (第二高校線)運行開始 交通センター～陸運事務所前
- S44.12.25 (楠団地線)運行開始 交通センター～楠団地
- S45. 2. 2 日吉営業所新設
- S45. 4. 1 運賃改定 1区の最低運賃20円、その後の区間は賃率6円50銭の対キ口制
運賃、市内特定地帯は30円均一
- S45. 5. 1 電車4・6号系統廃止に伴い、代替バス運行開始(5系統新設)
- S45. 7. 6 (長溝団地線)運行開始 交通センター～長溝団地
- S45. 9.15 (第二高校線)路線延長 陸運事務所前～東町団地
- S46. 8. 1 路線再編成を実施(8系統を新設し12系統を廃止)
- S47. 3. 1 電車1号系統の廃止に伴い、代替バス運行開始(5系統新設、1系統廃止)
- S47. 5. 1 (池田大窪線)路線延長 山伏塚～富尾団地
- S47. 9.11 (楠団地線)路線延長 楠団地～楠1丁目～楠団地入口
- S48. 3. 1 運賃改定 均一区間40円、基準賃率9円
対キ口区間30円、1区増すごとに10円
- 貸切運賃改定 1車1キロ当たり
100キロまでの1キロにつき 260円
100キロを越え300キロまでの1キロにつき 190円
300キロを越える1キロにつき 160円
- S49.10. 4 運賃改定 基準賃率12円、初乗り40円
- S49.10.17 市電・市営バス共通回数券発売
- S49.10.29 貸切運賃改定 1車1キロ当たり
100キロまでの1キロにつき 360円
100キロを越え300キロまでの1キロにつき 270円
300キロを越える1キロにつき 220円
- S50. 9. 4 (東町団地線)運行開始 京塚～健軍電停前、水洗～健軍電停前
- S51. 2. 1 (帯山線)路線延長 日赤病院前～身障者センター
- S51. 5. 1 日吉営業所を本山営業所に統合
- S51. 7. 2 路線統合 川尻線と帯山線→川尻帯山線、野口線と南町線→野口健軍線
- S51.10. 6 運賃改定 基準賃率13円50銭、初乗り60円
- (楠団地線)路線延長 楠団地～武蔵ヶ丘団地
- S52. 4. 6 バス専用レーン実施(バス優先信号併設)



1979(昭和54)年 小峯営業所



1990(平成2)年 動植物園カラーバス



1992(平成4)年 熊本城周遊バス



1993(平成5)年 レトロ調バス



1994(平成6)年 リフト付きバス

- S52. 6. 1 貸切運賃改定 1車1キロ当たり
 - 100キロまでの1キロにつき 410円
 - 100キロを越え300キロまでの1キロにつき 310円
 - 300キロを越える1キロにつき 250円
- S52. 6.18 (川尻帯山線)路線延長 身障者センター～長嶺団地
- S52. 7.23 運賃改定 基準賃率15円60銭 初乗り60円
- S53. 3.31 色別系統表示板設置 東部(紺)、西部(黄)、北部(赤)、南部(緑)
- S53.10.11 運賃改定 基準賃率17円90銭 初乗り70円
- S54. 2.26 小峯営業所開所式
- S54. 3. 1 小峯営業所営業開始に伴い14系統を新設、1系統廃止
- S54. 5. 3 貸切バス運行休止
- S54. 7. 5 (川尻国道線)運行開始 川尻バイパス(南高江～熊農前)
- S54. 8. 1 貸切バス事業廃止
- S55.10. 1 (東町団地線)路線延長 総合団地入口系統
- S55.10. 3 運賃改定 基準運賃20円50銭 初乗り80円
- S56. 4. 1 (県会議事堂線)路線延長 県会議事堂前～小峯営業所
- S56. 4. 6 (長溝団地線)路線延長 長溝団地～所島
- S56.10. 1 (楠城西線)路線延長 武蔵塚駅前まで
- S56.11. 4 (長嶺子飼線)運行開始 交通センター～子飼橋～長嶺団地
- S57. 1.21 (小峯京塚線)(楠城西線)路線延長 新蓮台寺まで
- S57. 4. 1 共通回数券乗車券制度開始(民営バス3社、市電)
動物マーク入り系統板開始
- S57. 9. 1 (御幸木部線)路線延長 幸田市民センター～下近見(東バイパス)
- S57.10. 1 運賃改定 基準賃率23円60銭 初乗り90円
- S59.10. 1 運賃改定 基準賃率26円40銭 初乗り100円
- S60. 7.20 上熊本営業所開所式
- S60. 7.23 上熊本営業所営業開始に伴い、(城北線)(坪井線)廃止
- S61. 4. 1 (川尻県庁線)運行開始 交通センター～県庁前～東バイパス～川尻町
- S61. 6. 1 (川尻帯山線)(島崎保田窪線)路線延長 社会保険センター～小峯営業所
- S61.11.27 運賃改定 基準賃率27円60銭 初乗り110円
- S63. 4. 1 (流通団地線)運行開始 交通センター～南熊本駅前～流通団地
- S63. 5. 1 (川尻帯山線)路線延長 託麻南まで
- H元. 6.29 ソーラー式バス停標識設置(市役所前)
- H元. 9. 1 運賃改定 基準賃率29円10銭 初乗り120円
- H 2. 9. 1 土曜タイヤ導入(花園柿原線)
- H 2.11. 1 (上熊本車庫線)路線延長 上熊本駅前～上熊本営業所
- H 3. 2.21 デジタル運賃表示器設置
- H 4. 4. 1 (八王寺環状線)運行開始 交通センター～南熊本駅前～交通センター
(子飼渡瀬線)運行開始 交通センター～子飼橋～江津団地
(第二環状線)廃止
- H 4. 4.18 (熊本城周遊バス)運行開始
- H 4. 8.24 (流通団地線)路線延長 流通団地～野越団地
- H 4.10. 1 運賃改定 基準賃率30円70銭 初乗り130円
バス乗継回数券発売(通勤、通学)
全線1日乗車券発売(スクラッチ式、1000円)
- H 5. 6. 1 営業所での定期券、乗継回数券の取次ぎ開始
- H 5. 7.12 (川尻帯山線・川尻国道線・川尻県庁線)路線延長 リバグリーン八幡まで
- H 5. 9.23 レトロ調バス運行開始
- H 6. 6. 1 バス車両無線機搭載
- H 6. 6.15 交通センター乗場が会社別から行先別に変更
- H 6. 8.17 リフト付きバス運行開始(川尻帯山線)



1995(平成7)年 スロープ付き超低床バス



1997(平成9)年 ノンステップバス



1998(平成10)年 貸切(競輪専用)バス

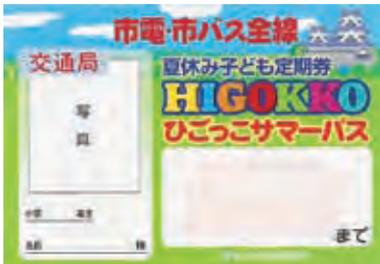


2001(平成13)年 都心循環(ゆうゆう)バス

- H 6.10. 1 バス留置制度開始(烏ケ江)
- H 7. 1. 1 単独占有バス停留所(45ヶ所)を民間事業者へ解放
- H 7. 3. 1 (小峯京塚線)路線延長 小峯～三山荘
(池田大窪線)路線延長 大窪～大窪駐車場
- H 7. 4. 1 電車・バス乗継定期券、乗継回数券発売開始
- H 7. 9.10 スロープ付き超低床バス運行開始(第一環状線)
- H 8. 3.31 方向幕及び系統番号を行先別に変更(民間各社と統一)
- H 8. 4. 5 (高平団地線)路線延長 高平～高平南公園
- H 8. 7.13 一般貸切事業(限定)運行開始(熊本競輪ファン送迎バス)
- H 8.10. 1 さくらカード運用開始(高齢者、障がい者、被爆者)
- H 8.10.15 交通センター詰所廃止
- H 9.10. 1 ノンステップバス運行開始(小峯京塚線)
- H 9.11.29 (楠団地)バス留置開始
- H 9.12. 2 (長溝団地線)路線延長 所島～烏ケ江
- H10. 3. 1 運賃改定(消費税率アップ分を転嫁)
基準賃率31円50銭 初乗り130円
- H10. 3.23 電車・バス共通プリペイドカード(TO熊カード)発売開始
- H10. 3.30 プリペイドカード運用開始(小峯営業所在籍車両)
- H10.10. 1 プリペイドカード運用開始(上熊本営業所在籍車両)
- H11. 4. 1 (楠城西線)路線延長 北バイパス
- H11. 8. 3 プリペイドカード運用開始(本山営業所在籍車両)
プリペイドカードの乗継割引開始
- H11. 9. 1 (野口健軍線)路線延長 アクアドームまで
- H11. 9.30 車内での紙券の回数乗車券販売終了
- H11.10.20 (渡鹿長嶺線)運行開始 交通センター～国道道路～長嶺小学校前
- H11.12.15 (流通団地線)路線延長 熊本中央病院まで
- H13. 2.28 音声合成システム運用開始
- H13. 3.31 紙券の回数乗車券の発売終了
- H13.11.23 都心循環(ゆうゆう)バス運行開始
- H14. 1.22 指定自動車整備(車検)事業の指定
- H14. 4. 1 バス初乗り100円運賃の実施(1年間限定)。初乗り約1.5kmまで
- H14. 7. 1 (川尻県庁線)路線廃止
- H14. 9. 1 定期券割引率引上げ(通勤30%→40%、通学(高校生以上)45%→50%)
エコ(環境)定期券の導入
- H16. 3.13 熊本城シャトルバス運行開始(土曜・日曜祝日)
- H16. 4. 1 おでかけ乗車券運用開始(高齢者、障がい者、被爆者)
- H16. 6. 1 都心循環バス平日運行廃止
川尻常山線の川尻市道系統を民間事業者へ移譲
- H17. 3.30 バス接近表示器設置(通町筋等5ヶ所)
- H17. 4. 1 川尻国道線を民間事業者へ移譲
池田大窪線の大窪系統を民間事業者へ移譲
野口健軍線の春日校系統を民間事業者へ移譲
秋津健軍線新設
- H17. 5.29 都心循環バス廃止
- H17. 6. 4 通町環状線新設(土曜・日曜祝日)
- H17.10. 1 1日乗車券の刷新
(全線券の販売額を変更1,000円→700円、観光文化施設利用割引券6枚付)
- H18. 1. 1 電車・自動車乗継回数券(普通・通学)の発売中止
- H18. 4. 1 整備課を自動車課へ統合
- H18.10. 1 熊本城周遊バス・熊本城シャトルバスの廃止
熊本城周遊1日乗車券発売中止



2006(平成18)年 貸切(競輪専用)バス



2007(平成19)年 ひごっこサマーパス



2007(平成19)年 大江局舎



2013(平成25)年 復刻カラーバス

- H19. 4. 1 御幸木部線を民間事業者へ移譲
- H19. 7. 1 高平団地線を民間事業者へ移譲
- H19. 7. 7 通町環状線廃止
- H19. 7. 7 夏休み子ども定期券「ひごっこサマーパス」発売開始
- H19. 7.21 市電・市営バス全線(1,000円)
- H19. 7.21 2日乗車券発売開始
- H19.10.10 区間指定(大人800円、小児400円)観光文化施設利用割引券10枚付
- H19.12.15 (小峯京塚線)路線延長 東部交流センター内乗り入れ
- H20. 4. 1 大江新局舎落成
- H20. 4. 1 楠城西線の一部を民間事業者へ移譲
- H20. 4. 1 画図線を民間事業者へ移譲
- H20. 4. 1 大江城西線新設
- H20. 5. 1 (大江城西線)路線延長 城西校北まで
- H20. 8. 1 バス初乗り100円運賃試行(初乗り約1.5kmまで)を終了し、130円に戻す
- H20.12. 1 デジタルタコグラフ運用開始(上熊本営業所所管49両)
- H21. 4. 1 本山営業所管轄7路線(第一環状線、流通団地線、秋津健軍線の一部、中央環状線、長溝団地線、本山車庫線、八王寺環状線)を民間事業者へ移譲
- H21. 7. 6 夏休み子ども定期券の刷新(民間事業者と共通化し利用可能範囲拡大、「Kidsパス」に呼称変更)
- H21. 9. 1 実証実験バス「東バイパスライナー」運行(11/30までの平日)
- H21.12. 1 デジタルタコグラフ運用開始(小峯営業所所管76両)
- H22. 3. 5 「交通事業の経営健全化計画の策定について」が議会で可決され、平成28年4月1日までに市営バス事業を民間事業者へ移譲することが決定
- H22. 4. 1 大江城西線・子飼渡瀬線を民間事業者へ移譲
- H22. 9.18 1日・2日乗車券の刷新(民間事業者と共通化し利用範囲拡大)
- H22. 9.18 路線バス等小児運賃無料化社会実験「休日ファミリー割引」の実施(10/17までの土・日・祝)
- H23. 4. 1 上熊本営業所管轄6路線(池田京町線、花園柿原線、池田健軍線、昭和町線、上熊本線、上熊本車庫線)を民間事業者へ移譲
- H23. 9.17 高齢者運転免許証返納者割引制度の運用開始
- H23. 9.17 路線バス・電車等小児運賃無料化社会実験の実施(10/16までの土・日・祝)
- H24. 4. 1 帯山線、島崎保田窪線、熊本駅県庁線、熊本駅長嶺線を民間事業者へ移譲
- H25. 4. 1 秋津健軍線、健軍長嶺線、東町団地線を民間事業者へ移譲
- H25.11.23 復刻カラーバス運行開始
- H25. 3.26 「交通事業の経営健全化計画の一部変更について」が議会で可決され、市営バス事業の民間事業者への移譲計画を、平成27年4月1日までと1年前倒しすることが決定
- H26. 4. 1 渡鹿長嶺線を民間事業者へ移譲
- H26.12.26 「熊本市交通事業の設置等に関する条例の一部改正について」等が議会で可決され、市営バス事業の廃止が決定
- H27. 3.31 熊本市営バス事業終了式典の開催(小峯営業所)
- H27. 4. 1 小峯京塚線を民間事業者へ移譲(市営バス事業廃止)



業以来の運輸成績

種別 年度	営業キロ		路線数	系統数	停留所数	在籍車両数	使用車両数	走行キロ	燃料使用量	乗車人員		乗車料収入		比率	
	キロ	高								定期	貸切	定期	貸切		定期外
								キロ	%	人	人	円	円	%	
昭和															
2	18,080	17					204,894.5			285,650		22,201.00		0.0	
3	24,960	19					622,338.8			921,285		68,530.00		0.0	
4	20,160	23					853,014.3			1,205,295		79,938.00		0.0	
5	25,020	26					899,521.5			1,232,518		82,869.00		0.0	
6	17,120	33					1,196,302.1			1,890,337		118,170.00		0.0	
7	24,200	40					1,348,588.6			1,823,507		113,039.00		0.0	
8	38,100	37					959,640.0			1,790,893		111,048.00		0.0	
9	16,500	42					1,345,479.0			1,992,944		120,809.00		0.0	
10	38,100	43					1,477,686.0			2,491,081		146,240.00		0.0	
11	27,700	43					1,578,368.0			2,960,994		171,862.00		0.0	
12	32,700	39					1,624,234.0			3,204,343		181,859.00		0.0	
13	32,700	43					1,146,661.0			3,043,057		172,815.00		0.0	
14	34,600	41					746,038.0			2,316,672		134,785.00		0.0	
15	34,600	37					801,662.0			2,463,702		144,730.00		0.0	
16	34,600	34					734,007.0			2,577,518		148,222.00		0.0	
17	34,600	30					560,288.0			2,561,925		143,614.00		0.0	
18	34,600	26					329,008.0			2,400,435		128,276.00		0.0	
19	34,600	21					121,253.0			1,414,993		90,627.00		0.0	
20	3,500	14					16,702.0			239,324		16,374.00		0.0	
21	3,500	13					38,394.0			321,334		70,529.00		0.0	
22	11,700	10					87,394.0			704,757		902,575.00		0.0	
23	17,300	14					189,862.0			1,265,538		5,461,316.00		0.0	
24	15,800	16					296,075.0			1,310,935		10,959,950.00		0.0	
25	33,700	39					855,059.8			2,886,484		30,316,836.00		0.0	
26	56,200	43					1,558,174.2			5,149,065		56,855,062.00		0.0	
27	58,200	49					1,704,423.1	558,232		5,671,799		64,012,013.00		0.0	
28	57,900	54					1,295,341.0	462,650		5,025,717		60,109,894.00		0.0	
29	57,600	58					1,450,364.0	470,376		91,522	8,652,833.00	74,449,667.00		0.0	
30	57,400	61			121		1,527,266.0			137,333	10,529,694.00	86,605,274.00		0.0	
31	63,200	66	11		157		1,761,101.0	556,882		156,817	11,840,657.00	109,093,982.00	93.0	7.0	
32	63,200	13			157		2,043,437.6	583,256		209,946	13,048,040.00	132,206,053.00	88.8	11.2	
33	69,070	13			171		2,364,307.3	656,792		194,575	18,427,410.00	149,625,450.00	86.2	13.8	
34	69,500	15	16		184		2,969,943.4	841,833		185,056	25,613,940.00	170,612,430.00	83.5	16.5	
35	81,900	20	20		214		3,684,115.0	1,094,588		229,118	35,181,350.00	209,419,396.00	81.0	19.0	
36	80,900	20	29		219		4,220,141.0	1,272,844		251,658	47,560,920.00	261,237,910.00	78.9	21.1	
37	87,730	22	32		231		4,385,084.0	1,290,447		279,236	61,463,960.00	42,725,610.00	311,491,790.00	73.1	22.9
38	90,130	23	43		260		4,857,515.0	1,481,987		275,929	93,361,380.00	48,978,410.00	396,589,410.00	73.1	26.9
39	96,180	23	54		273		5,340,631.0	1,682,653		297,616	114,137,455.00	69,430,590.00	459,504,020.00	70.7	29.3
40	100,430	24	63		283		6,207,439.0	2,055,776		258,761	159,561,500.00	56,861,386.00	556,837,321.00	68.1	31.9
41	106,330	28	68		283		6,509,236.0	2,132,134		277,427	218,798,748.00	69,347,450.00	705,293,033.00	65.6	34.4
42	114,520	30	77		315		7,009,727.0	2,368,637		298,281	222,507,576.00	76,839,783.00	729,701,120.00	65.9	34.1
43	118,300	30	74		333		7,157,184.0	2,396,693		312,058	223,412,873.00	84,317,308.00	751,023,474.00	66.5	33.5

44	128,160	34	79	350	200	62,116	7,245,933.0	2,593,063	24,370,132	14,403,976	287,022	39,061,130	62.9	37.1	490,666,627.00	221,433,078.00	94,414,405.00	806,514,110.00	68.9	31.1
45	133,415	30	97	361	217	66,633	7,862,552.0	2,811,206	22,333,627	14,952,218	270,676	37,556,521	59.9	40.1	675,887,043.00	336,801,230.00	100,639,209.00	1,113,327,482.00	66.7	33.3
46	133,640	30	96	363	231	67,689	7,986,216.0	2,918,802	22,919,077	13,724,431	277,694	36,921,202	62.5	37.5	692,154,055.00	337,663,000.00	106,217,114.00	1,136,034,169.00	67.2	32.8
47	139,235	29	105	372	231	71,679	8,360,611.0	3,105,227	24,748,405	13,631,794	309,549	38,689,748	64.5	35.5	770,222,115.00	333,062,725.00	120,047,600.00	1,223,332,440.00	69.8	30.2
48	138,545	29	104	372	228	68,979	7,972,899.0	2,960,258	23,786,204	13,110,216	289,132	37,185,552	64.5	35.5	975,534,255.00	443,721,375.00	153,608,158.00	1,572,863,788.00	68.7	31.3
49	140,355	26	101	374	228	67,581	7,360,664.0	2,730,467	23,733,467	12,624,638	267,799	36,625,866	65.3	34.7	1,150,039,800.00	485,384,210.00	148,962,491.00	1,784,366,501.00	70.3	29.7
50	145,155	26	96	395	228	66,060	7,223,124.0	2,700,581	24,193,621	10,526,300	241,725	34,961,684	69.7	30.3	1,417,072,380.00	554,787,790.00	146,541,711.00	2,118,311,881.00	71.9	28.1
51	147,034	26	98	397	228	65,831	7,197,059.0	2,696,516	23,607,741	9,362,640	198,845	33,169,226	71.6	28.4	1,501,145,250.00	522,918,930.00	128,878,490.00	2,152,942,670.00	74.2	25.8
52	146,635	26	96	397	217	64,517	7,079,491.0	2,690,416	23,164,987	8,029,380	170,462	31,364,829	74.3	25.7	1,736,494,585.00	562,425,280.00	126,883,076.00	2,415,742,941.00	75.9	24.1
53	146,635	26	104	397	215	63,826	7,030,140.0	2,755,074	22,331,254	7,287,330	167,852	29,786,436	75.4	24.6	1,837,762,380.00	552,477,370.00	115,316,832.00	2,505,556,582.00	76.9	23.1
54	147,535	26	115	401	200	60,195	6,871,488.0	2,767,210	22,073,245	6,655,590	175	28,729,010	76.8	23.2	1,952,284,470.00	551,748,650.00	230,800.00	2,504,263,920.00	78.0	22.0
55	149,035	26	114	404	200	61,265	6,886,011.0	2,765,700	22,090,677	6,425,460	0	28,516,137	77.5	22.5	2,083,840,165.00	563,396,760.00	0.00	2,647,236,925.00	78.7	21.3
56	153,095	26	123	413	199	60,820	6,933,407.0	2,778,000	21,344,160	5,790,340	0	27,124,540	78.7	21.3	2,148,629,060.00	551,472,750.00	0.00	2,700,101,810.00	79.6	20.4
57	158,585	26	124	424	199	61,071	6,975,636.0	2,833,000	20,701,688	5,299,440	0	26,001,128	79.6	20.4	2,216,866,850.00	520,305,100.00	0.00	2,737,171,950.00	81.0	19.0
58	161,415	26	126	433	199	61,896	7,032,047.0	2,934,000	19,758,864	4,865,130	0	24,623,994	80.2	19.8	2,248,628,975.00	500,038,990.00	0.00	2,748,667,965.00	81.8	18.2
59	158,515	26	126	434	197	61,044	6,931,395.0	2,854,000	18,730,943	4,555,886	0	23,286,829	80.4	19.6	2,266,321,375.00	483,516,860.00	0.00	2,749,838,235.00	82.4	17.6
60	159,400	25	130	431	192	58,967	6,737,052.0	2,835,000	17,746,846	4,070,280	0	21,817,126	81.3	18.7	2,289,106,020.00	461,034,760.00	0.00	2,750,140,780.00	83.2	16.8
61	162,000	26	130	439	190	58,937	6,801,358.0	2,832,000	17,418,717	3,821,860	0	21,240,577	82.0	18.0	2,289,462,910.00	434,524,050.00	0.00	2,723,986,960.00	84.0	16.0
62	163,400	26	131	383	190	58,416	6,779,574.0	2,828,000	16,767,711	3,570,542	0	20,338,253	82.4	17.6	2,277,762,345.00	414,895,020.00	0.00	2,692,645,365.00	84.6	15.4
63	163,710	27	132	388	190	59,006	6,833,721.0	2,840,000	16,404,097	3,525,912	0	19,930,009	82.3	17.7	2,224,325,855.00	407,299,910.00	0.00	2,631,625,765.00	84.5	15.5
平成																				
元	163,710	27	134	389	190	59,290	6,831,343.0	2,808,000	15,893,625	3,284,839	0	19,178,464	82.9	17.1	2,163,881,130.00	374,772,447.00	0.00	2,538,653,577.00	85.2	14.8
2	166,100	27	135	394	190	60,440	6,822,269.0	2,874,000	15,893,337	3,117,537	0	19,010,874	83.6	16.4	2,198,139,398.00	360,541,311.00	0.00	2,568,680,709.00	85.9	14.1
3	167,550	27	139	405	190	61,145	6,961,415.0	2,904,000	16,740,994	2,998,566	0	19,739,560	84.8	15.2	2,303,485,913.00	344,141,660.00	0.00	2,647,627,573.00	87.0	13.0
4	172,310	29	142	406	196	61,916	7,166,546.0	3,000,000	16,564,042	2,936,994	0	19,501,036	84.9	15.1	2,320,178,728.00	340,822,243.00	0.00	2,661,000,971.00	87.2	12.8
5	171,800	29	148	408	199	62,853	7,307,172.0	3,044,000	17,107,301	2,714,758	0	19,822,059	86.3	13.7	2,444,717,646.00	317,208,136.00	0.00	2,761,925,782.00	88.5	11.5
6	178,100	29	153	429	203	63,178	7,355,793.0	3,160,000	16,544,338	2,612,854	0	19,157,192	86.4	13.6	2,360,570,464.00	300,376,631.00	0.00	2,660,949,095.00	88.7	11.3
7	177,330	29	166	428	203	62,822	7,489,954.0	3,172,000	16,543,923	2,558,091	0	19,102,014	86.6	13.4	2,357,315,430.00	296,568,049.00	0.00	2,653,883,479.00	88.8	11.2
8	176,930	29	162	430	203	62,845	7,492,494.0	3,158,000	16,168,893	2,476,899	46,219	18,692,011	86.7	13.3	2,188,971,065.00	286,354,634.00	30,133,447.00	2,505,459,146.00	88.4	11.6
9	177,460	29	158	432	203	61,749	7,480,590.0	3,128,000	16,320,213	2,378,988	79,569	18,778,770	87.3	12.7	2,125,375,339.00	269,135,679.00	45,625,257.00	2,440,136,275.00	88.8	11.2
10	177,360	29	153	432	203	60,664	7,355,230.0	3,152,000	16,422,337	2,177,690	77,407	18,677,434	88.3	11.7	2,066,454,439.00	247,737,010.00	43,810,199.00	2,358,001,648.00	89.3	10.7
11	187,440	29	150	448	202	60,074	7,288,145.0	3,115,600	15,578,238	1,861,346	115,876	17,555,460	89.3	10.7	1,968,958,927.00	212,453,964.00	79,984,305.00	2,261,377,196.00	90.3	9.7
12	187,840	29	151	450	207	60,347	7,292,100.0	3,118,000	15,393,147	1,599,459	74,395	17,067,001	90.6	9.4	1,889,821,280.00	181,906,479.00	43,300,240.00	2,115,127,999.00	91.2	8.8
13	179,340	29	140	452	203	60,180	7,236,504.0	3,110,000	14,995,057	1,388,073	88,741	16,471,871	91.5	8.5	1,828,366,725.00	157,362,843.00	48,693,240.00	2,034,422,808.00	92.1	7.9
14	180,240	29	141	453	203	61,406	7,248,432.0	3,126,000	14,291,228	1,300,816	153,805	15,745,849	91.7	8.3	1,726,558,916.00	139,745,179.00	65,071,123.00	1,931,375,218.00	92.5	7.5
15	180,240	29	138	444	203	61,241	7,275,276.0	3,112,000	13,879,203	1,400,425	84,251	15,363,879	90.8	9.2	1,651,911,302.00	146,647,119.00	49,651,560.00	1,848,209,981.00	91.8	8.2
16	175,950	29	128	440	194	59,400	6,943,964.0	2,959,000	12,617,521	1,341,760	101,671	14,060,952	90.4	9.6	1,647,623,611.00	138,267,536.00	55,910,160.00	1,841,801,307.00	92.3	7.7
17	157,760	28	109	402	187	57,111	6,532,063.0	2,726,500	11,990,222	1,311,568	117,705	13,419,485	90.1	9.9	1,562,830,238.00	134,715,893.00	65,645,760.00	1,763,191,891.00	92.1	7.9
18	155,310	27	107	398	184	56,688	6,452,133.0	2,652,548	11,906,490	1,341,874	116,131	13,364,495	89.9	10.1	1,551,884,455.00	138,676,806.00	64,533,120.00	1,755,094,181.00	91.8	8.2
19	147,410	24	105	383	175	54,308	6,134,471.0	2,540,571	11,269,979	1,359,550	118,429	12,747,958	89.2	10.8	1,466,010,890.00	138,075,243.00	68,520,080.00	1,672,606,213.00	91.4	8.6
20	135,560	23	88	343	161	48,894	5,261,243.0	2,127,423	9,805,273	1,300,304	116,270	11,221,847	88.3	11.7	1,277,488,940.00	130,645,103.00	69,261,840.00	1,477,395,883.00	90.7	9.3
21	100,160	17	66	263	125	37,285	4,008,223.0	1,549,765	7,777,218	1,000,535	118,065	8,995,817	88.6	11.4	1,011,534,615.00	105,934,142.00	75,671,110.00	1,193,139,867.00	90.5	9.5
22	90,160	15	56	234	112	31,904	3,553,567.0	1,355,025	5,894,191	911,889	110,485	6,916,565	86.6	13.4	933,688,193.00	98,670,591.00	74,769,534.00	1,107,128,318.00	90.4	9.6
23	68,460	9	42	179	87	23,652	2,820,234.0	1,101,684	4,400,823	753,433	117,981	5,272,237	85.4	14.6	754,268,381.00	87,851,444.00	76,751,491.00	918,871,316.00	89.6	10.4
24	43,360	5	24	117	56	15,487	1,735,953.0	693,991	2,549,042	508,694	118,521	3,176,257	83.4	16.6	448,417,233.00	57,954,253.00	82,581,506.00	588,952,992.00	88.6	11.4
25	23,800	2	14	69	42	11,792	1,334,885.0	563,071	2,089,068	516,214	109,133	2,714,415	80.2	19.8	372,468,656.00	61,002,891.00	65,369,842.00	498,841,389.00	85.9	14.1
26	16,600	1	9	48	32	8,534	988,295.0	399,858	380,402	380,402	82,390	2,048,052	80.6	19.4	298,018,869.00	51,311,340.00	64,559,596.00	413,889,805.00	85.3	14.7

※数値は各年度末現在、乗車料収入は消費税を除く

歴代局長・事業管理者

初代	松尾 寛二	1924(大正13)年度～
2代	古澤 俊次	1928(昭和 3)年度～
3代	杉本 榮男	1936(昭和11)年度～
4代	野上 進	1942(昭和17)年度～
5代	神山 秀雄	1945(昭和20)年度～
6代	森田 邦雄	1947(昭和22)年度～
7代	宮崎 友房	1952(昭和27)年度～
8代	内山 将三	1956(昭和31)年度～
9代	木庭 勝彦	1958(昭和33)年度～
10代	高群 将司	1961(昭和36)年度～
11代	岡本 峻	1963(昭和38)年度～
12代	林田 典雄	1971(昭和46)年度～
13代	内藤 睦義	1972(昭和47)年度～
14代	赤城 武	1975(昭和50)年度～
15代	岡本 昭二	1983(昭和58)年度～
16代	高木 和暢	1985(昭和60)年度～
17代	下山 邦彦	1986(昭和61)年度～
18代	出井 昇	1986(昭和61)年度～
19代	渡辺 正	1989(平成 元)年度～
20代	谷 壽夫	1991(平成 3)年度～
21代	行徳 健次	1996(平成 8)年度～
22代	市原 敏郎	1999(平成11)年度～
23代	川上 憲司	2003(平成15)年度～
24代	中原 謙吉	2004(平成16)年度～
25代	石田 賢一	2005(平成17)年度～
26代	松永 浩一	2009(平成21)年度～
27代	中山 弘一	2013(平成25)年度～
28代	西本 賢正	2014(平成26)年度～

写真・資料提供(順不同・敬称略)

熊本日日新聞社
日本郵便株式会社
一般財団法人熊本国際観光コンベンション協会
有限会社編集会議
株式会社ぼると出版
中村弘之
川瀬修一

参考図書(順不同・敬称略)

熊本県のバス事業/一般社団法人熊本県バス協会
熊本市電70年/細井敏幸
熊本市電30年史/熊本市交通局
熊本市交通局40年史/熊本市交通局
熊本市営交通60年のあゆみ/熊本市交通局
事業年報/熊本市交通局

発行

熊本市交通局
〒862-0971 熊本中央区大江5丁目1番40号
TEL:096-361-5211
<http://www.kotsu-kumamoto.jp/>

※写真・図版等の無断複写・転載はお断りいたします。



熊本市交通局

Kumamoto City Transportation Bureau